

東京 陵水

賀正
令和3年元旦
陵水会東京支部役員一同

コロナ禍感染拡大のなか 陵水会東京支部長に 能島伸夫氏（大22）就任

年頭所感

陵水会東京支部長
能島伸夫



陵水会東京支部の皆様、新年あけましておめでとうございます。会員の皆様がお健やかに新しい年をお迎えになられたことを心よりお慶び申し上げます。今年、竹森二郎前支部長より東京支部の支部長を引き継ぐことになりました能島伸夫（大22

回卒）です。これまで東京支部副支部長の二年にわたる経験があるとはいえ、コロナ感染あり総会等主要イベントも従来どおりには開催できない先行き不透明な環境下、中村勝幹幹事長（大25回卒）を中心に役員一同協力

1110面	459面	3面	2面	1面
年頭所感(能島支部長)	令和元年活動報告・収支報告	令和三年度支部総会について・東京支部を担う人々	こころにちは	滋賀大学における感染症対策 コロナ禍蔓延下の滋賀大学
30292726231812面	28面	252117面	117面	17面
新体制で昨年役員幹部会、NextRyosui企画会議を合わせて一回のZoom会議を実施し、特にNextRyosuiのオンラインセミナー『先輩に聞く！これからのキャリアと選択』は三夜連続多数の参加を得て大成功に終わりました。本年での次回開催もご期待頂ければと存じます。	二、大学への積極支援と協力です。	(イ) 実業サイドからの人材教育支援(リーダーシップ論講義、人材バンクへの協力体制の維持)	(ロ) 学生の就活支援促進(陵水懇話会、若手卒業生有志による就職相談会へのOB派遣)	(ハ) 陵水会本部との連携の下、留学支援制度等の強化を引き続き実施していきます。

き昨年来企画立案の準備を開始しほぼ大筋が出来上がった状況です。本年六月の陵水会総会の決議を経て二〇二三年十一月開催成功に向けて準備スタートです。

し、決意も新たに活動面において名実ともに全国一と誇れる東京支部の更なる発展のために精進する所存ですので、会員の皆様のご理解と一層のご協力、ご支援をお願いいたします。

いくと考えます。新体制で昨年役員幹部会、NextRyosui企画会議を合わせて一回のZoom会議を実施し、特にNextRyosuiのオンラインセミナー『先輩に聞く！これからのキャリアと選択』は三夜連続多数の参加を得て大成功に終わりました。本年での次回開催もご期待頂ければと存じます。

母校滋賀大学は二〇一七年に日本初のデータサイエンス学部を創り、文理融合型大学に舵をきった「さらさら輝く大学」となっています。新世代の旗手となるデータサイエンス学部を武器に産学公連携推進機構、社会連携センターを中心としてSociety 5.0社会など新しい時代を切り開く、社会の良き伴奏者として、日本と世界の発展に貢献し、その社会的存在を顕示しつつあります。

昨年是一年だったのではと思います。いろいろな社会の構造変化が見えられますが、その大きな現象として①リモート社会(非接触型社会)到来と②中央集権型から分散型ネットワークの時代へ、特に地方に脚光があたるのではと考えています。そんな中、陵水会東京支部活動の在り方に関し次の三点に注力したく活動方針を立てました。

一、支部活動の基盤強化のために

ポストコロナ時代の様々な変化の中、我々陵水会会員も「着眼大局着手小局」の精神で、お世話になった滋賀大学やその仲間との絆を大切に母校や陵水会発展の為に役に立とうではありませんか。

- (イ) 総会、役員幹事会のZoom等テレ会議開催
- (ロ) 陵水会東京支部HPの工夫、活用
- (ハ) 若手・女性のためのNextRyosuiの活性化支援が特に重要になって

- (イ) 三、「滋賀大学陵水一〇〇周年記念事業」の支援です。陵水会本部では記念事業につ

新年が会員の皆様にとって辛多く、また素晴らしい年となりますよう心より祈念申し上げます。

- (イ) 総会、役員幹事会のZoom等テレ会議開催
- (ロ) 陵水会東京支部HPの工夫、活用
- (ハ) 若手・女性のためのNextRyosuiの活性化支援が特に重要になって

- (イ) 三、「滋賀大学陵水一〇〇周年記念事業」の支援です。陵水会本部では記念事業につ

新年が会員の皆様にとって辛多く、また素晴らしい年となりますよう心より祈念申し上げます。

のうじま のぶお氏

昭和二十六年一月京都市生まれ。伝田ゼミ、詩吟部。昭和四十九年三月滋賀大学経済学部卒業後三和銀行（現三菱UFJ銀行）入行。以降ニューヨーク支店四年半、カナダ三和銀行五年（モントリオール、トロント本部）の通算九年半勤務後、国内五カ店の営業店支店長（最終執行役員京都支店長）の任に当たる。平成十七年六月（株）モビット（現SMBＣモビット）社長、平成二十年六月大正銀行（現徳島大正銀行）社長、平成二十四年六月カブドットコム証券（現AUカブコム証券）会長を歴任。平成二十八年十二月にキーエンス非常勤監査役を退任。令和元年六月全現役任を退任。平成三十年七月より陵水会東京支部副支部長、令和二年七月より陵水会東京支部長、兼務陵水会副理事長となり現在に至る。

令和二年総会に代わる
書面決議事項

●令和元年度活動報告

(前回総会以降)

(A) 支部総会

・令和一年七月四日開催 当番幹事：大学31回+30回・32回

出席者総数二七四名（来賓等含む）。講演会・歴史時代小説家の矢的竜氏（大18回）

・令和二年総会開催に向け、32回卒業生+31回・33回が昨秋より累次準備会合開催

・令和二年、四月、新型コロナウイルス感染拡大のため令和二年「総会・講演会・懇親会」の中止および「総会」の書面決議への代替を提案

・令和二年十一月二十八日 秋季役員幹事会、監査

・令和二年四月中旬 会計監査を電話・メールにより実施

(緊急事態宣言のため)

・令和二年四月下旬 新型コロナウイルス感染拡大のため春季役員幹事会を中止し、書面決議へ替えて実施

(C) その他会議

・令和一年九月二十九日 支部幹事会（7名、新年度役員人事・活動方針、年会費納入方法他 於：新宿三平会館）

・令和二年三月・四月 支部幹部会（新型コロナウイルス感染症防止のためメール・電話会議にて実施）

(D) 東京陵水新聞の編集・発行。令和二年一月第一〇七号発行（二〇〇〇部）

(E) 支部ホームページ

・H Pデザインおよびコンテンツ企画・実装体制の強化、同好会連絡事項、大学関連投稿掲載他

(F) 大学支援他

・陵水会協力講義への講師派遣

(G) 学生の就職活動支援

・陵水懇話会、若手卒業生有志による就職相談会（当支部から派遣あり）

(H) 同好会活動

・Facebook、ゴルフ会、囲碁会、散歩会、詩吟同好会の活動

令和元年度収支報告

○財産目録（単位円・以下同じ）

現金 一、七五六

普通預金 二、一四八、二三二

郵便預金 一、一三三、三一一

定期預金 一、〇六〇、〇〇〇

合計 三、三三二、二九八

○貸借対照表

【借方】

現預金 二、一五九、九八八

郵便預金 一、一三三、三一〇

定期預金 一、〇六〇、〇〇〇

合計 三、三三二、二九八

【貸方】

前受金（注一） 二四三、〇〇〇

基本金 一、〇六〇、〇〇〇

次年度繰越金二、〇二九、二九八

合計 三、三三二、二九八

令和元年度収支予算

【支出の部】

総会費（注二） 五〇〇、〇〇〇

印刷費 五〇〇、〇〇〇

(注一) 前受金：翌年度の年会費

○収支計算書

【支出の部】：実績

総会費 二、五五〇、六九二

印刷費 四一四、〇三七

通信費 五八七、五五〇

運営費 五八、一七〇

広報活動費 六〇、〇〇〇

編集費 一五〇、〇〇〇

交通費 二四、五七四

事務用品費 一一、〇八九

雑費 七三、九四八

次年度繰越金二、〇二九、二九八

合計 五、九五九、三五八

【収入の部】：実績

年会費収入（注一） 一、四七六、〇〇〇

総会費収入（注二） 二、〇八九、〇〇〇

寄付金収入 一三六、〇〇〇

新聞広告収入 二四〇、〇〇〇

本部活動助成金 一四六、八〇〇

雑収入 五、〇八一

前年度繰越金一、八六六、四七七

合計 五、九五九、三五八

(注一) 年会費四九二名

(注二) 総会参加者二七四名

(来賓等含む)

令和二年度収支予算

【支出の部】

総会費（注二） 五〇〇、〇〇〇

印刷費 五〇〇、〇〇〇

通信費 七〇〇、〇〇〇

運営費 三〇〇、〇〇〇

広報活動費 一〇〇、〇〇〇

編集費 一五〇、〇〇〇

交通費 五〇、〇〇〇

事務用品費 二五、〇〇〇

雑費 五〇、〇〇〇

次年度繰越金一、八九六、〇九八

合計 三、七七一、〇九八

令和三年度

支部総会について

当番幹事 水上 康弘（大32）



○開催概要

日時…令和三年七月三日(土)

午後四時半開始(予定)

会場…上野精養軒

来賓並びに講演…日清紡ホール

ディングス株式会社 代表取

締役社長 村上雅洋氏(大30

回卒)

○総会準備について

令和二年度の総会は、コロナ禍の影響により東京五輪が延期になる環境下で、総会・講演・懇親会は中止、総会のみ書面決議での実施となりました。世界的な感染拡大と、その収束時期が見通せないという思いがけない事態に直面し、会員各位の仕事・生活面でも大きな影響があったことと思います。

一方、対面での様々な活動が制限されることにより、人と人との繋がり大切さを再認識することにになりました。

陵水会東京支部の活動に当番幹事として関わらせていただき、会員の皆様方から、陵水会運営に対して、多くの励ましのお言葉を頂きましたことを改めて厚く御礼申し上げます。

さて、令和三年度の総会準備については、コロナの影響が残ることを念頭に準備を進めつつあります。感染リスクを抑制し

つつ、どの様な形で総会を開催するかにつき、様々な選択肢を検討中です。

幅広い年齢層の会員各位の交流の場となるよう、支部役員の皆様や、幹事団の意見を伺いつつ準備を進めていきたいと存じます。

講演については、日清紡ホールディングス株式会社の村上社長によるご講演を予定しています。村上社長には、令和二年度の総会でご講演いただく予定でしたが、総会会合が中止となったことを受けて、再度今年度総会での講演をお願い致しましたところ、快くお引き受けいただきました。心より感謝申し上げます。

同社は、一九〇七年に紡績会社として設立された名門企業です。現在はM&Aなどによる大胆な事業再編を進められた結果、エレクトロニクス、プレーキ、精密機器、紡績など幅広い事業を展開する「環境・エネルギーカンパニー」となっています。村上社長は、長年に亘り経営戦略センターで事業再編を主導してこられました。幅広いご経験に基づく、貴重なお話を伺えるものと楽しみにしています。

今年度支部総会についても、

三年幹事制の下で、当番幹事の三十二回を中心に、前後一年次(三十一回と三十三回)のサポート幹事の皆様との緊密な連携の下で、準備を進めて参ります。

幹事団のメンバーを中心に、ゼミ、クラブ、会社ルートなどからご参加を呼びかけます。若手や、女性会員の皆様を含めこれまで以上に多様性がある東京陵水会となるよう努めて参ります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

東京支部を担う人々

中村 勝(なかむら まさる) 東京支部幹事長・本部長理事 経済学部28回卒・越後ゼミ 京都府・紫野高校出身



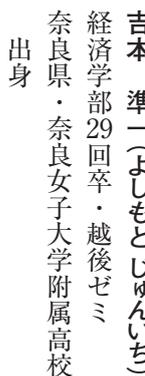
て、楽しんでいきます。学生時代に趣味になる事をやっておいて良かったと思っています。

同窓というご縁を大切に、女性・若手にも参加頂けるイベントも企画すべく、役員一丸となつて頑張りますので、ご支援下さい。

東京支部副幹事長兼事務局長・本部長代議員

吉本 準一(よしもと じゅんいち) 経済学部29回卒・越後ゼミ

奈良県・奈良女子大学附属高校出身



この度突然のご指名で事務局長に就くことになりました。諸兄弟にはご指導の程よろしくお願い申し上げます。

卒業後三十八年余り金融機関等に勤め、退職後に何故か経営コンサルタント業を始めました。写真はその際に、薦められて業務用に撮ったものですが、プロの仕事に感心しました。

陵水会にも様々なプロがおられます。老若を問わず同窓の方

と語り合い教え合うことで、人生がより豊かになればと考えております。何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東京支部副幹事長・本部長代議員 島田 大輔(しまだ だいすけ) 経済学部30回卒・伝田ゼミ 大阪府・四条畷高校出身



大学四年間はハンドボール部に所属しており、部活動を中心にアルバイトやマーじゃんに明け暮れる生活でした。ハンドボール部の先輩と後輩、同期生に支えられ何とか生きてこられた大学生活、どうにかこうにか卒業し、激動の時代を経て今無事に還暦を迎えていることが不思議に感じられてなりません。

五十七歳になってゼミ同期の吉田さんに誘われ、東京支部の当番幹事に加わらせていただきました。活動の中で、時代や世代の変化をひしひしと感ずるが、年次が違えども同窓という雰囲気、共通の感覚みいたなものがあられるように思われます。

今後とも陵水会に集う皆様
が、世代は違っても楽しく交流
できますように、微力ながら努
力させていただきたいと思っ
ております。

東京支部副幹事長・本部代議員
和田 博之(わだ ひろゆき)
経済学部19回卒・河野ゼミ

ラグビー部
兵庫県・三田学園(中学・高校)
出身



令和二年七月まで幹事長を務
めさせて頂きました。色々なご
案内も十分行き渡ったとはいえ
ず反省しきりですがこの間、皆
様の暖かいご支援を賜り心より
感謝しお礼申し上げます。
ご縁があつて令和三年六月ま
で副幹事長を務めさせて頂きま
す。

新型コロナウイルスはまだ先
行不透明ですが、ひと時の立止
りと思索を私達に与え、より素
晴らしい世の中及び陵水会へ発
展させる契機になると思ってい
ます。

他に左記の三名が在任

東京支部副幹事長

田村 寿夫(たむら としお)

経済学部12回卒

東京支部副幹事長・本部理事

脇阪 守(わきさか まもる)

経済学部21回卒

東京支部副幹事長・本部代議員

上林 好一(かんばやしよしかず)

経済学部26回卒

東京支部監事・本部代議員

岡田 憲治(おかだ けんじ)

経済学部18回卒・仙田ゼミ

ラグビー部

兵庫県・伊丹高校出身



監事を数年続けています。毎
年四月に東京支部の監査を行な
い、結果を総会で報告しています。
現在、上場企業の監査役、公益
社団法人の監事等をしていま
す。東京陵水会計人会の世話役をし
ている税理士です。大学時代は
ラグビー部に所属し、グラウン
ドや彦根城の城山を駆け巡って
楽しんでいました。写真は令和
二年の新年会の時のものです。

東京支部監事・本部代議員

松澤 進(まつざわすすむ)

経済学部38回卒・井上洋一郎ゼミ

ウインドサーフィン部主将

会計士同好会会長

神奈川県・鎌倉高校卒業



東京支部役員の中では一番の
若手になります。諸先輩方に可
愛がっていただいております
が、本業が多忙のため幹事会に
はなかなか出席できていません。
先輩方のおかげで何とか監事の
職務を行っています。

本業は、税理士法人の代表社
員としての税理士業務、会計士
としての監査業務、一般事業会
社の役員をしています。そのほ
か、会計士会・税理士会の地方
会で役員をしております。この
十五年ほどで東京陵水の総会が
とても賑やかになったことを嬉
しく思っています。同時に、近
い将来にやるであろう当番幹事
の責任の重さに戦々恐々として
おります。

微力ではありますが、今後も
東京陵水のために働く所存です。

こんにちは

澤田 太郎氏 (大31回)

(さわだ たらう)

株式会社 大丸松坂屋百貨店

代表取締役社長ほか

■出身地、大学への入学

——本日はお忙しいところ、あ
りがとうございます。ご出身は
兵庫県とお聞きしていますが…
澤田 私は兵庫県神戸市の出身
で、生まれは灘区です。中高一
貫教育の男子校で、大学に入る
までずっと男子ばかりでした。

——現在のご自宅は須磨でした
ね。近くに昔の源平合戦で有名
な「一の谷の古戦場」がありま
すね。

澤田 あそこに敦盛塚がありま
す。若くして熊谷次郎直実と戦
い敗れた平敦盛の悲話がある
で、詩吟や謡曲、能にも演目が
あります。

——滋賀大入学の動機は何です
か。

澤田 共通一次試験が始まる前
の年の受験生で、最後の二期校
の生徒だったので、浪人したら

翌年は試験制度が変わってしま
って、文系だと理系科目が一つ
増えるというようなプレッシャ
ーがありました。結果、第一志

望だった一期校を落ちてしまっ
たのですが、二期校の滋賀大に
合格しました。予備校へ行って
翌年もう一度受験しようかと少
し迷いましたが、父が滋賀大は
就職もいいし、ぜひ滋賀大へ行
きなさい、と言って背中を押し
てくれました。

■学生時代

澤田 クラブはバスケットボー
ル部に入りましたが一回生の夏
休みに入る前に辞めてしまっ
て、下宿でマージャンばかりし
ていました。芹橋二丁目下宿
をしていたのですが、そこには
学生が五人住んでいて、先輩が
三人で同級生が二人でした。同
級生は隣の部屋だったのです
が、彼もクラブには入っていな
くて、二人で友達を呼んでい
つもマージャンをしたという訳で
す。よく騒ぐので下の部屋にい
る先輩から怒られ、ひどい時は
下宿のおばさんから怒られま
した。

——大学生活を満喫されていた
んですね(笑) 大学以外での思
い出は何でしょうか？
澤田 一回生の夏休みに神戸へ
帰って、アルバイトをしたのが
大丸のお酒売場のお中元のバイ
トでした。

——大丸は元町ですね。

澤田 今も元町ですが、学生アルバイトもたくさんいましたし、若い社員さんも大勢いらっしやる。これは楽しい、面白いなど思いました。

冬は、大丸で知り合った先輩の紹介で新潟県・妙高高原スキー場の民宿へ毎年アルバイトに行っていました。その民宿に幼稚園のお嬢ちゃんが出て、初めから仲良くしてもらったのですが、とても私になつてくれ



ました。正月も妙高高原に居て、試験の時だけ彦根に帰っていたのですが、ご両親から、帰ると分かれると泣くから黙って帰ってくれと言われるくらいで……

——それは澤田さんのお人柄もあり、なんとも懐かしい思い出ですね。

澤田 彦根へ帰ったら友達の下宿を回り、ノートのコピーを見せてもらって……試験が終わったら新潟へ戻ってアルバイトとス

キーをする、そういう生活をしていました。

■門脇ゼミ

澤田 ゼミは、門脇ゼミで日本的経営を勉強しました。エズラ・ヴォーゲルが『ジャパン・アズ・ナンバーワン』を出して、米国でも日本的経営が優れていると評価された時代でQC（品質管理）活動も勉強しました。

門脇先生はハンガリーや当時のユーゴスラビア等の東欧経済の専門家でしたがそういうことも勉強させて頂きました。卒業論文もその分野の論文を書きました。

最近の日本の経営は、いつの間にか欧米の会計が入ってきて、四半期決算となっておりますが、一方で米国は逆に中長期の実践力を大事に考えるようになっていて、日本が目先のことばかり見すぎという指摘があります。コーポレートガバナンスの改革が求められる流れの中で、一橋大学の伊藤邦雄先生が言っていることは、もっと長い目で企業経営をするべき、ということ。元々私達が持っていた経営の視点にもう一度戻そうではないかということだと思えます。そんな最近の論議を見ていると、ちょっと昔の勉強のことを

思い出しました。

■大丸へ就職

澤田 私の父は銀行員で、父と同じ仕事をやるのもどうかという思いもあって就職先に銀行は希望しませんでした。メーカーは理系の人が中心だろうと当時は思っていたので、商社、証券会社を受けたのですが、なかなか就職は決まりませんでした。

そこで大学へ相談に行き、百貨店はどうか、と尋ねたら高島屋、大丸はまだ面接がある。大丸は国公立を特別待遇してくれるらしいから、よいかもしれないと言われ、アルバイトで馴染みがあった大丸を受けて、内定をもらいました。一九八三年、ちょうど大阪梅田に大丸が新規オープンする年の入社です。新入社員研修を終え、配属は大丸神戸店の紳士カジユア売場に決まりました。これが社会人のスタートでした。

——そこで実際に店頭に立って販売されたのですか。

澤田 社員なので店頭に立って販売もしますし、パーゲンセンターの商品も用意します。あと外商係員との同行販売もありました。当時はマンシング（メンズウェアのブランド）が大変流行っていたのですが、やはり売れ

残る商品もあります。売場の担当者としては、それを少し値段を下げてでもどこかで売り切りたいと思うものです。しかし（ブランドイメージがあるので）店頭でオープンには売れないので、外商係員に依頼して法人の取引先の会議室へ持って行って、社員の方に特別価格ですよ、といった販売すると本当によく売れました。

三年目に、催会場を任せました。百貨店には上層階に催会場があつて、当時、紳士カジユアは毎週のように売場を出していました。販売計画を立て、自分で仕入れて運営していくので、販売だけでなく生産というサプライチェーンの上流まで勉強し計画を立てました。

——どういう品物を仕入れたら売れるとか、自分で考えるのですか。

澤田 そうです。季節によって売れ筋も変わりますし、件のマンシングの特別価格セールも、一般のお客様にオープンにしたらダメなのですが、パーティーションで困って、カードのお客様だけ特別に入れます、と工夫しました。

当時、水曜日が定休日でしたので、冬なら売場の若手社員な

ど大勢でスキーに行ったり、売場の先輩たちとも仲良くするなど、あまりつらい目にあつたという記憶はありませんね。

■バイヤーになる

——流行を素早くキャッチし価格を抑えながら早いサイクルで大量に生産・販売するというのは素人には大変なことと思うのですが……

澤田 その点は合理的にやっていますが、そういうことをやっているバイヤー（仕入担当）になりたくなくなってきました。その頃、百貨店のカジユアルウェアというとマンシングに代表されるように、オジサンが着るような服しかありませんでした。二十代の若者が着る服はなかったですね。

信じられないでしょうが、婦人服は全く下火でした。一九八六年の男女雇用機会均等法で初めて婦人服が百貨店の表舞台に出てきました。入社当時の婦人服売場は婦人セーターが服地し

がなく、紳士服のレイディモードスーツが中心でした。ちなみに日本でも最初のPB（プライベートブランド）のレイディモード

は、大丸のトロージャンです。

バイヤーになりたいと思つて

いましたが、これからは若者向けの売場を作らないと大丸はもたないと考えて、若い人たちが行くお店に何度も足を運んでブランドを調べました。街の店へ行つて話を聞きまわりました。地道に取引先を調べているとだんだん状況が分かってきました。

——やっぱ自分で足を運んで動くことが大切ですね。

澤田 上司にも、こういう売場を作りたい、と提案していただきました。それで二九才の時バイヤーになり、これからは若者受けすることとしようとして売場に場所を空けてもらったりしながら虎視眈々とチャンスを狙っている、ちよんども百坪くらいの場所が空いたので、いよいよ自分で売場をつくり運営することができました。自分で考えたことがすぐ実現できる、百貨店ならではの面白さを感じました。

■尊敬する経営者との出会い

澤田 入社した頃は三宮に、そごうが、ありました。神戸の百貨店では、格は大丸が上なのですが売上は圧倒的にそごうが上でした。当時は三宮に交通インフラの主要ターミナルが集中し元町は街に勢いがありませんでした。そごうが大丸に売上で大



きな差をつけていて、取引先もそごうにしか向いていませんでした。

入社して四年目の一九八六年に、長澤昭さんが大丸神戸店の店長に赴任して来ました。長澤さんは元々神戸っ子です。博多大丸社長から本社人事の役員に就任されましたが「どうしても神戸に赴任したい」と戻って来られました。

長澤さんは、周辺店舗の再開発を始めました。神戸は旧居留地（外国人の居住や営業のために指定した地域）で元町エリアは商船三井ビル等古くて良いビルが沢山残っていたのですが、私たちが入社した頃は、特に海運業が斜陽だったこともあって、寂れて暗い感じでした。しかし、建物は素晴らしかったの

です。長澤さんはそこに眼をつけてファッションブティックを誘致しました。当時のニューヨークのソーホー（最新高級ファッションと歴史的建築物がコラボする街）のようなイメージですが、古い街並みを使って少し中身をリノベーションし、よいブランドを誘致して、今まで人が来なかったエリアをファッションナブルでおしゃれな街に大変身させていきました。

すると途端に、三宮と元町のエリア格差が逆転しました。

長澤さんが街の再開発を進めるのを目の当たりにして、これだけ変わるものかと思いましたが、経営トップや店長の戦略如何でドラスティックに街の立場が逆転するということをつぶさに見て、凄いなと思ったことを今でも鮮明に思い出します。

大丸神戸店が増床した時に先程お話しした場所が空いて、私が思っていた売場を作ることができた訳です。今、神戸では大丸が押しも押されぬ一番店ですがそのベースを作ったのは長澤昭さんの周辺店舗再開発です。今、東京でも丸の内の再開発などが行われていますが、神戸の居留地の再開発を参考にしたと聞いています。皆さん神戸の

ことを勉強されたようです。

■阪神淡路大震災

澤田 一九九五年一月に阪神淡路大震災がありました。その時の店長は森範二さんですが、長澤さんと共に大丸の歴史で名前が残る店長です。

森店長は強いリーダーシップがありました。被災して二日後には出社できる少しの社員を集め、まず建物の安全・安心を確認し、お客様の預り品を外へ出す、お客様に連絡をする、お客様に届ける、店の所有物は後でいい、という方針を立て一カ月

でお客様の商品を出し、三カ月で新しい売場を作ったのです。また電車も通っていない、水も来ない時に、歩いて会社まで行って、ひどい時は会社に三日

四日寝泊まりしました。神戸店の建物は、継ぎ足しで増床してきた建物なので古い部分は壊れて使えなくなっていました。が、全面積の三分の一程は大丈夫でした。そこで、震災から三か月後の四月八日には残った面積で営業再開しました。

——それは何歳頃でしたか。

澤田 三五歳です。その時私はバイヤーだったので三カ月の間、とにかく商品を仕入れさせてもらうため、大阪へよく出掛

けました。大阪は、震災被害はさほどありませんでした。私はメンズウェアの担当でした。メンズフロアのプロデュースを任せて頂き、売場は縮小になるけれど売上は落ちないように皆で工夫して売場作りに取り組みました。

——震災復興に向け、売場を通じて大変な経験をされたのですね。

澤田 そうですね。四月八日と一部の地域にガスや電気が通じ始めた時期です。その時、「傷ついた神戸の街をもう一度、一からやり直しましょう！」というメッセージを込めて、私は真っ白な売場を作りました。メンズカジュアルが担当でしたが、シャツもセーターもズボンも白かベージュしか置かない。普通、服は四色から五色あるのですが、申し訳ないけど白とベージュだけ仕入れさせてくださいと取引先をお願いして、全品白とベージュだけの売場を作りました。これが評価されてお客様にもすごく喜んで頂きました。それが一番の思い出ですね。

■百貨店の商売

澤田 営業再開に向けて、森店



長の檄があります。

・絶対バーゲンをするな、百貨店はそんなものじゃない、それは違う！

・百貨店は生活を彩ることが仕事だ、生活必需品を安く売ることではない、よく工夫した売場をお客様にご披露せよ！
部下の立場から見ると、ものすごく信頼できる店長でした。

四月八日は、開店と同時に、お客様へ昨日までリュックサックを背負って街を歩いていた人たちが、大丸がオープンということでお化粧してちよつと綺麗な洋服を着て来店され、販売員と三カ月ぶりで抱き合う姿がいたるところで見られました。

私が作った売場もよく売れました。取引先からも「よくやりましたね」と言われて、本当にその時は百貨店へ入ってよかったですと思いました。

百貨店は戦争があつたら成立

しません。新型コロナウイルスの時も百貨店は不要な存在です。なくてもみな生きていけます。でも、少し生活が安定してくると少し何か物足りない：生活そのものではなくて、生活の豊かさとか彩りとか心の豊かさというか。絵画などはその類の商品だと思えます。何かあると日常が潤う、楽しくなると：

進部門で、宣伝やウィンドウの装飾、季節ごとのテーマ等を決める部署です。その販売企画マネージャーへ異動したのですが、異例で三カ月後に部長になりました。二〇〇四年、神戸店の営業企画CS推進室販売促進部長です。百貨店に入つて、バイヤーや販促部長は憧れのポジションでした。それから程なく営業統括店次長になりました。

澤田 話は変わりますが、震災後の一九九八年から三年間(財)阪神淡路産業復興推進機構へ出向していました。当時の通産省の補助金で運営していた財団法人で民間・行政・国が一体となつて被災地域の産業を復興させようという組織です。そこでの経験は今も役に立っています。

店次長は店長の次のナンバー2のポジションです。四六才の時でした。

■大丸松坂屋百貨店の誕生

澤田 私が神戸店の店次長になった二〇〇七年に、大丸と松坂屋ホールディングスが経営統合し、共同持株会社であるJ・フロンティアリング株式会社

(JFR)を設立しました。それから三年ほど経った二〇一〇年に大丸と松坂屋が合併して株式会社大丸松坂屋百貨店が発足しました。大丸松坂屋百貨店はJFRの一〇〇%子会社です。

澤田 三年間の出向が終わつて元の職場へ戻り、それ以降もずっと紳士服の現場を歩いてきましたが、店長が変わられ、販売企画へ来いと言われました。神戸店のプロモーション・販売促

進部門で、宣伝やウィンドウの装飾、季節ごとのテーマ等を決める部署です。その販売企画マネージャーへ異動したのですが、異例で三カ月後に部長になりました。二〇〇四年、神戸店の営業企画CS推進室販売促進部長です。百貨店に入つて、バイヤーや販促部長は憧れのポジションでした。それから程なく営業統括店次長になりました。

澤田 私が神戸店の店次長になった二〇〇七年に、大丸と松坂屋ホールディングスが経営統合し、共同持株会社であるJ・フロンティアリング株式会社

(JFR)を設立しました。それから三年ほど経った二〇一〇年に大丸と松坂屋が合併して株式会社大丸松坂屋百貨店が発足しました。大丸松坂屋百貨店はJFRの一〇〇%子会社です。

澤田 一連の動きは百貨店業界が全体的に厳しい状況になってきたからですか。

澤田 そうです。ただ、大丸と松坂屋が百貨店業界では最も早い統合でした。そういう意味では先見の明があつたと思いま

す。大丸は大阪が本社で、松坂屋は名古屋が本社です。それで大丸松坂屋百貨店の本社を東京に移しました。

澤田 大丸と松坂屋がよく一緒になつたと思うのですが：

澤田 大丸は名古屋エリアが違います。大丸は名古屋になく大きな店舗の重複はありませんでした。そういう経緯もあつて合併し、一つの会社になりました。

この時に大丸神戸店の店次長から大丸松坂屋百貨店の本社、経営企画部長に異動しました。初めて神戸を離れ、東京本社へ単身赴任したのです。

澤田 ずっと神戸にいました。半生神戸です。初めて東京へ来たのですが、実は一年位しか居ませんでしたが、正確にいうと十

一カ月です。当時の社長に呼ばれて、「神戸にもう一度戻つてくれ」と内示を貰い、今度は店長だと。大丸松坂屋百貨店・執行役員大丸神戸店長です。出身店の店長なので嬉しかったですね。しかも長澤昭さん、森範二さんという尊敬する大先輩と同じポジションというのは絶対かなわらない先輩方ですが、その人

達と同じポジションになったのだなと感慨深いものがありました。

神戸を離れたのは一年弱ですが、神戸店長というポジションで帰つて思ったのは、長澤さんや森さんがやってこられたことが今はだいたい崩れてきている、ということ。だから部下たちにも、もう一回ちゃんとやろう

よ、という話をしました。そうこうしている内にまた社長に呼ばれて、「今度は心齋橋店へ行ってくれるか」と言われました。神戸店長が一年少しで今度は執行役員大丸心齋橋店長です。五二歳でした。そこでは四年半やりました。

心齋橋店が面白かつたのは、あそこはヴォーリスの建築なの



です。近江八幡に住んでおられたウイリアム・M・ヴォーリスですね。心齋橋店の建物がだいぶ古くなって耐震問題もあったので、ヴォーリスの外観をしっかりと残して中を建て替えるプロジェクトの室長と店長を兼務でやらせて頂きました。

——滋賀大の陵水会館もヴォーリスの設計です。

澤田 そうですね。色んなご縁がありますね。

心齋橋店の四年半にはインバウンド（訪日客）が急激に伸びました。私が心齋橋店へ赴任した頃の年間の訪日外国人数は、退任する時には五十倍近くになりました。その対応に追われてきた訳です。訪日客は化粧品をたくさん買われるので、新型コロナウイルスがなければ、大丸松坂屋百貨店が日本の小売業界で化粧品売上のトップになっていたと思います。

また、建て替えプロジェクトの室長として、心齋橋店が提供すべき価値は何かと言う根源に立ち返り、各界を代表する方々とのトークセッションなどを通じて五つの提供価値（フィロソフィ）を定め、ストアコンセプト『Delight the World「世界が憧れる、心齋橋へ」』を基に、百

貨店の進化形を目指しました。本館は一昨年に建て替えが終了し新本館がオープンしました。また、北館も昨年に改装が終了しグループのパルコがオープンしました。大変素晴らしい店舗ですので、大阪に行かれた際は、ぜひお立ち寄りください。

その後、また東京の本社へ呼ばれて、今度は取締役兼執行役員経営企画室長でした。そこに一年いまして、二〇一七年から二年までの中期計画を作りました。その際『五年先の「未来定番生活」を提案する』というビジョンを策定し、このビジョンを具現化するために台東区谷中の古民家を改装し、「未来定番研究所」という研究機関を創設しました。オフィスビルとは異なる環境の中で考え議論することで、今までにはない新しい発想がどんどん生まれました。心齋橋店の建て替えもそうですが、やはりベースは「現状延長ではダメだ」という思いだったのだと思います。

そうこうするうちに親会社のJFRへ来いと言われ、執行役員常務経営戦略統括部長になり、そこに二年いて現職になりました。

——現在、J・フロントリテイリング株式会社には取締役兼執行役員専務で、株式会社大丸松坂屋百貨店は代表取締役社長で、さらに株式会社大丸松坂屋セールスアソシエイツの代表取締役社長を兼ねておられますね。

■新型コロナウイルス対策

——今は新型コロナウイルスの影響が大きいですね。

澤田 四月、五月の約五十日間には緊急事態宣言に従って営業を自粛し、この間の売上は前年比約二五％程度にまで落ち込みました。五月中旬頃から営業を再開し、六月、七月は七十〜七五％位まで戻りました。八月にはもっと戻るかと期待していたのですが新型コロナウイルスがぶり返し、その影響を受け、また七十％を切る位まで下がりました。九月に入って持ち直しています。

私達は安全・安心対策を一番真剣にやっていて、入り口も全部は開放していません。お客様にはご迷惑をおかけしますが、必ず検温センサーを通して頂き、手指の消毒をして頂いています。従業員も出勤時に体温チェックと手指の消毒は必ずやります。お客様もエリアによってはこのような状況に随分慣れて



きてwithコロナが普通になりつつあります。一部の催会場から物産展も始めていて、徐々に従来の百貨店に戻りつつあります。これから随分よくなっていると思っていますが、問題は八月にあったように感染数が増えたとときですね。今後は一進一退はあると思っています。

■新しい方向の模索

澤田 私は新型コロナウイルスが落ち着いても今までのやり方では百貨店の売上が戻るとは思いません。五十日間、店を閉めて分かったことは、私達は「場所と時間」という二つの制約の中で商売をしてきたということ。つまり、お店という場所で、営業時間の中でしか商売をしていなかった。これは致命的なミステイクだと分かりました。営業時間を伸ばして売上を伸ばすという方法は勿論ありますが、少子高齢化で働く人が減

5年先の「未来定番生活」を提案する。



大丸松坂屋百貨店

JFR GROUP

代表取締役社長 澤田 太郎 (大31回)

本社: 〒135-0042 東京都江東区木場 2-18-11
daimaru-matsuzakaya.com

る中で長時間働くのは如何なも
のかと思います。

— そうであれば、場所と時間の
制約のハードルを下げる仕組み
を考えれば、売上を落とさずに
済む筈です。

それはデジタルだと思ってい
ます。しかしアマゾンの仕組み
を私達が作ろうと思っても商品
の網羅性でアマゾンに勝てる
とは思いません。私達が志向す
べきなのは店頭のサービスが使
えるEコマース（ネット通販）
です。化粧品であれば店頭にビ
ューティアドバイザーがいま
す。そういう人たちとスマート
フォンで繋がりながらEコマ
ースで買える。私達には人とい
う財産があり、ヒューマンタ
ッチ×テクノロジー、つまりヒ
ューマンとデジタルを使える強
みがある。だから店頭のサー
ビスを起点としたオンラインの
世界をスマホの中に作るこ
とが、私達が勝てるチャン
スなのだろうと思っ
ています。

— 本場に高級品を安心して買
えるのが私の百貨店のイメ
ージです。

澤田 それだけに大切な人に何
かをお届けするのは「やっぱり
百貨店でないとね」ということ
を失ってはならないと思いま

す。

— それを維持しながらデジ
タルの便利さと安心感をお届
ける。

澤田 そうです。私達が三百年
培ってきたノウハウ、インテ
リジェンスをデジタルと融合
させるサービスは私達しかでき
ないだろうと思っ
ています。

大丸松坂屋は百貨店ですが、
もう一度「百貨店」を定義し直
さないといけないと思っ
ています。

戦前・戦後から七十年代ご
ろまでは百貨店業界で一番、二
番の企業は日本の小売業界の一
番、二番でした。今、五・九兆
円の百貨店業界で当社が一番で
三越伊勢丹が二番といつても小
売業全体では下の方です。ユニ
クロ等のファストファッション
やEコマースの会社が上位にあ



ります。百貨店業界はこれから

も縮小すると考えていますが、
私達はその中でしっかりとシ
ェアを拡大する考えです。従来
の百貨店業界が縮んでいくので
あれば、その枠の外のマーケット
で大丸松坂屋がやるべき場
がある筈です。それをやろうと
既に計画しています。

■ 陵水会への期待

澤田 私は大学のキャンパスで
何かしたという記憶は余りな
いのですが、それでもやっぱり
卒業生ということで皆様と親
しく交流がありますし、滋賀
OBというところで横の繋が
りがあるというのには素
晴らしいことだと思っ
ています。マンモス校じゃ
ないというのが一番です
ね。彦根もコンパクトな街
ですし、すぐ昔に戻って
同じ話が出来るのも非
常に素敵なことだと思
います。

— 陵水会には現役の学生さん
もいらっしゃるのですか？

— 現役学生も準会員として
陵水会に参加しています。また
仕事現場の人達にもっと多
く参加してもらおうと思
っています。

澤田 現役ビジネスマンの
人達が普通に異業種で集
まるより、同じ大学の同
じ街で過ごした仲間とい
うことをベースに持つ人

達が集まることは、私はもの
す。

— 価格は高くなることだと思
っています。陵水会が現役
ビジネスマンの中堅・若
手の人達にそういう機会
と場をこれからもっと
提供できると素晴らしい
と思
います。

■ 若手OB・OGへのエール

澤田 今は一つの会社に
ずっといることは少なくな
って来
ました。

— 昔は入った会社で頑
張れば、ほぼ恵まれる時代
背景がありました。今は困
難な状況だし、コロナ禍
で若い人の仕事環境は
更に厳しいものがある
と思
います。

澤田 社会人になって、「ビ
ジネスのスキルやテクニ
ックを磨くのが目的」とい
うのではないかと私は思
います。一番のベースは
自分がどういう人間にな
りたいかという、という
フィロソフィが一番。そ
れがしっかりしていない
と、いくらビジネススキ
ルが高くても、少し違
うと思
います。「自分はこうな
りたい」というベース上
で、なりたい自分をふ
さわしいことかという
ことを常に考えながら
スキルを磨いていく。フ
ィロソフィとビジネス
スキルの両方を大事に
されることをお勧めし
ま

す。

私は幸い長澤昭さんと森
範二さん、この二人が本
場に素敵な先輩で、いつ
かは私もあのような人
になりたいと思っ
ています。

— 憧れ、があったのです
ね。

澤田 そうですね。ああい
う人になりたい、いいな
あと思
いました。憧れがあつた
のです。

部長研修などでも、受
講している人の中に、何
か凄いなものを持っている
なと感じる人、理
路整然と上手にプレゼン
する人があつた。や
はり人間力ですかね。

— そうですね。

澤田 仕事をしてい
るといわずに上司と同僚
と部下ができます。その
時それぞれに対して違
う顔を覚える人、違
う顔をする。上に対
してはものすごく丁寧
なのですが、下に対
してはぞんざいなとか。
そういう人、自分
がどうありたいかとい
うことをしっかり持
つ。企業でいう理念
のような、芯にある
ものを大切にしたい
と思
います。

— 今日本場に貴重な時間を
ありがとうございました。

滋賀大学における新型コロナウイルス感染症の対策

経済学部 経済学

新型コロナウイルス感染症に関する情報は、二〇二〇年一月二十八日に指定感染症として定める等の政令が決定し、文部科学省から適切に対応するよう通知がありました。

滋賀大学ではこの通知を受けて感染拡大の予防のため、現在は「国立大学法人滋賀大学における新型コロナウイルス感染症への対応指針」の制限レベル1に基づき、授業等が執り行われています。

● **イベント関係**
 滋賀大学は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の予防のため、一月十八日に次のイベント（彦根キャンパス関係で主なもの）の中止が決定されました。

- ・彦根キャンパス就職セミナー
- ・その後、三月五日には卒業式・修了式（三月二十六日開催予定）、三月二十五日には入学式（四月六日開催予定）の中止がそれぞれ公表されました。
- ・その他、次のイベントの中止等が順次決定されました。
- ・新入生歓迎交流会【滋賀大学体育会】

・経済学部新入生オリエンテーション

・新入生歓迎マラソン【経済学データサイエンス学部】

・フレッシュマンキャンプ【経済学データサイエンス学部】

・第五十五回滋和二大学学長杯争奪総合定期戦

・オープンキャンパス二〇二〇（WEBオープンキャンパスに変更）

● **授業関係**
 三月三〇日に各学部の授業開始日を四月八日から四月二〇日に延期することとし、原則として、インターネットを活用した授業を行うことが公表されました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため四月二〇日～五月三十一日の間、学生の構内立ち入りが禁止されました。

五月二十九日に「緊急事態宣言」解除を受けて六月一日より段階的に緩和する方針が公表されました。七月二十一日に新型コロナウイルス感染症への対応を、授業、研究や課外活動などの各活動別に可視化した「国立大学法人滋賀大学における新型コロナウイルス感染症への対応指針」が公表されました。八月

七日に令和二年度秋学期の授業方針等が公表されました。

九月二日に「新型コロナウイルス感染症対応フローチャート」が提示され、九月十六日に経済学部、データサイエンス学部の秋学期の授業実施方法が次のとおり公表されました。

令和二年度秋学期における授業の実施方法は、対面授業方式とオンライン授業方式の併存。

- ・対面授業は座席間隔を空けて実施するため、通常とは異なる教室での開講となる場合がある。
- ・授業によっては受講者の人数制限を実施。
- ・受講の際には手洗いや手指消毒をする、マスクを着用する等の感染防止対策を心がける。

八月三十一日に秋学期授業開始（十月一日から）にあたり、大学の入構についての注意事項が公表されました。

- 一、毎日登校前に検温し平熱を確認。風邪やいつもと違う症状がある場合は、登校せずに（学生用）新型コロナウイルス感染症対応フローチャートを参考にし

て学生支援課に連絡のうえ自宅を安静。

二、マスクの用意と着用のおえ入構。

三、三つの密（密接、密閉、密集）を避ける行動。

四、ソーシャルディスタンス（二m間隔、最低でも一m以上）を心掛ける。

五、手洗い、手指消毒をこまめに。

六、不要不急の構内滞在を避け、授業等終了後は速やかに帰宅。

七、感染者となった場合、保健所の調査で発症前二週間程度の行動履歴が調べられるので日々の行動履歴（いつ、どこで、誰と、どの程度の時間、何をしたか）を記録しておく。

八、入構後において、風邪やいつもと違う症状が出た場合は、速やかに帰宅。帰宅後は（学生用）新型コロナウイルス感染症対応フローチャートに従って行動。

● **課外活動関係**
 三月三日に学生へ課外活動等の感染症への対策として、次の事項が要請されました。

・集団行動は、三月三十一日までの間自粛。

・課外活動団体等での飲食を一同に会して行う懇親会等は、当分の間自粛。（末日未定）

・日常の課外活動等において、発熱やのどの痛み、咳、強いだるさ（倦怠感）を抱える学生は活動に参加しない。

三月五日に滋賀県内で初めて新型コロナウイルス感染が確認されたことを受け、学生の安全・健康を考慮し、課外活動・サークル活動に関して、次の事項について延期または中止が要請されました。

- ・練習、会合（ミーティング等）
- ・通常の活動について。
- ・懇親会、コンパ等の集会については接触感染のリスクを踏まえ当分の間。
- 四月一日に課外活動・サークル活動に関して、次の事項の中止または延期が要請されました。
- ・課外活動団体、研究室、ゼミ等での、懇親会、コンパ等の集会については接触感染のリスクを踏まえ。
- ・新入生の歓迎、交流、課外活動紹介等の企画・イベント。

・キャンパスおよび周辺での新生の勧誘、勧誘チラシ配布等の活動。

・不特定の者が参加する、もしくは学内外の生徒・児童が参加するような活動。

・対外試合、遠征、合宿、演奏会、ライブ、催し物等。
・練習、会合(ミーティング等)、通常の活動。

コロナ禍蔓延下の

滋賀大学と彦根

滋賀大陵水新聞会
編集長 瀬山 嘉彦

現在、新型コロナウイルスは世界中で問題視されている。新型コロナウイルスの蔓延による被害は、滋賀県彦根市も例外ではなくで、来客の減少により、日中活気にあふれていた商店街は今や見る影もなくなっている。中には来客の減少により閉店を余儀なくされた店も少なくない。滋賀大学の学生がこよなく愛する居酒屋の1店舗も先日暖簾を下ろし、その閉店に多くの学生が涙したことだった。今回の件で数人の滋賀大学の学生に話を聞いてみたところ、このような飲食店の営業時間短縮、閉店などが一番初めに

六月一日に「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための課外活動指針」が策定されました。その後、七月一日、九月一日に課外活動指針が改訂され、管理上の措置、活動上の措置が順次緩和されました。(註) 本稿は陵水会本部事務局から令和二年十月にご提供を本紙対応で修正しました。

多々あるようである。

下宿を始めた今年1回生の学生は例年は四月、五月に行われる新入生歓迎会、またはそれに伴って開催されるイベントが学校の方針で行うことを禁止され、だいたいの学生はそこで友達を作り、華の大学生活を始めるのだが、今の1回生は友達も作れず、バイトの入り方も分らず、寂しい思いをしている学生が多いようである。十月に秋セメスターが始まり、それと同時に新歓も一部解禁されたが、それでもやはり例年より、頻度も少なく規模も小さいので友人関係で悩んでいるという下級生の声はいまだにやんでいないように感じる。

感じた彦根市の変化だったという意見が多かった。コロナウイルスの影響でバイト先が閉店してしまったりという学生も少なくなく、このような状況なので、バイトを雇えないということでも新たなバイト先も簡単に見つからず、また、家で過ごす時間が増え、電気代、ガス代、光熱費がいっつも以上にかさんでしまい、生活が苦しくなっている学生も多いようである。

学生に他に受けた影響について話を聞くと、やはり遠出がはばかられたり例えば、TOEICなども試験が普通なら受験料を払えば、確実に受験できるのに、人数制限をかけるために抽選式に変わってしまい、受けたいタイミングで受けることができなくなってしまうたり他にもいろいろと不便に感じることは

下宿している上回生は一人暮らしにかかる費用が今まで以上にたくさんかさんでしまい、またバイトに行くこともはばかられてしまうので、実家に一度帰省し、そこでオンライン授業を受けるとい学生が春から急増した。秋セメスターの始まりと共に、一部の授業が対面方式になり、帰省していた学生もだんだんと彦根に戻ってきているが、滋賀大学の学生寮である偲聖寮は寮に滞在していない期間は家賃がとられないとのことで、一時期七

改修となった母校講堂



利用料金

月額支払いプラン 110円

年間一括支払いプラン 990円

産経ラストメッセージ



ラストメッセージ
産経 **lastmessage**

あなたの「最期」の言葉あずかります
もしもの時 大切な人にメールが送られる

産経新聞社 代表取締役社長 飯塚浩彦 (大29回)

〒100-8077 東京都千代田区大手町1-7-2
✉ h.lizuka@sankei.co.jp

割強の学生が実家で過ごし、このタイミングで帰省しづらかったのは部活をしている学生だった。もちろんすべての部活が練習の中止、ほぼすべての大会が中止、延期となったが、特に上回生はやりきれない気持ち

が強く、一日でも早く練習を再開したい、延期でもいいから公式戦をやりたい、やりきって終わりたいという気持ちが強く、なかなか彦根から出づらかったという。上回生の姿勢を見て下級生も上回生を支えたいという

気持ち強まったが、練習を行うことが難しく、できたとしても一度に練習できる人数が制限されているので、とてももどかしい気持ちになったと話している。上回生の中にはコロナの影響で、様々な予定が狂わされ、引退の時期が早まる選手もいて、チームに大きな混乱を招いた。新型コロナウイルスが部活に及ぼした影響として他に、試合中ベンチはマスクをつけることが強制され、大きな声で応援することを控えなければならなくなったり、また観客も観客登録をしなければならなかったという。部内のミーティングは原則オンラインになり、対

面でもやるよりぎこちないものになったと話している。さらには部活後や大会後に集まってご飯を食べることが学校側から禁止され、先輩後輩間での仲を深められるチャンスが減って、コミ

ュニケーションをとれる場所が減り、しんどかったという意見も多く出た。このような状況でどのような気持ちで部活を続けたのか、今年引退する身としてどのような思いだったのかを今年引退する野球部の学生にインタビューしてみた。

「新型コロナウイルスの影響で生活はどのように変わりましたか？ また、部活面ではどのような心境の変化がありましたか？」

「生活面では、オンライン講義の開講や、アルバイトに入れないなど今までの生活が全て一変しました。そのような変化の中で特に私が感じたのが部活面での変化だったので、部活面に関してお話ししたいと思います。私は硬式野球部に所属しています。その中で二〇二〇年の春をもって引退した4回生においては、コロナウイルスの影響により、二〇二〇年度春季リーグの中止によって、最後の大会を迎えることなく引退するとい

うとても残念な結果になりました。感染が最も拡大していた時期でしたので、仕方ないとは思

じるものの最後の大会を共に戦えなかったことはとても悔しかったです。また二〇二〇年度秋季リーグ戦は開催されたものの無観客試合となりました。これからもコロナウイルスに対応した形で部の活動や大会などが行われていくのだろうと思います。

おそらく今後も新型コロナウイルスによる影響は出続けることが予想されるが、一日でも早くおさまることを願うばかりである。

一方で新型コロナウイルスがもたらした意外なメリットとして、去年就活をした学生はほとんどの面接がオンラインとなり、交通費が浮いたり移動時間が短縮されたりということがあった。またオンラインで面接を行わない企業などもあり、コロナ対策が企業の選考に行くかの指標にもなったという。現在まだ少しづつコロナ対策が緩和されつつあり、気が緩みかけているように思えるが、新型コロナウイルスの蔓延を防ぐために今こそ気を付けて行動していかなければならぬと思う。

寄稿

雑感

朝比奈 冬男 (大13回)

「中国の統一は漢字によっている？」

視点…なぜ中国大陸は、欧州大陸のような多様国家の併存とならなかったか？

(漢字の流れ)

すべての世界の文字は象形文字から始まっているといわれる。そのはじめはエジプトやメソポタミアさらにそれ以前にみられる。その他世界各地(中央アメリカ先住民なども含めて)にその痕跡が残っています。

中国では甲骨文字から始まり紀元前二〇〇〇年以降には銅器に刻まれた金文として次第に現代に通ずる表意文字に変遷します。時代的には夏、殷から始まり周の中原に広まった表意文字漢字は、中国最初の統一王朝である秦王朝(紀元前二二二年)以降においてその形が明確になってきます。

始皇帝は、度量衡、車輪の幅の統一、貨幣の整理をして今に続く郡統治政治機構を作ったとともに、重要なことは公文書の文字、形式の統一を図ったこと

です。

当時中国大陸各地に存在した多くの文体の統一化を促し政治統治の手段としたことはその後中国大陸の政治システムおよび文化形態を決めた基盤になり、欧州のような、多言語国家の併存が生まれませんでした。その後後世、モンゴル(元)、女真族(清朝)が自らの表音文字(梵字、満州文字など)を持ち込むことを図ったがついに中国大陸での普及には成功しませんでした。

さて西方イラン等の中近東文化の影響を持つ秦王朝においても、中国中原の漢字文化は利用せざるを得なかったことです。その後の隋唐時代においても当時の状況は、中国大陸にはまさに山を越えても 川を越えても異なる口語が存在したために、あまりに数が多く それぞれの地域でそれぞれの表音文字を作り出すには、それぞれの人口の基盤と文化的基盤がぜい弱であったため成立できなかったと思われま

始皇帝は、咸陽を起点としてその短い生涯(前二四六年始皇帝十四歳から前二一〇年五十歳まで)を中原および南方、東方征服に懸けました。あらゆる異

なる口語の地域を征服することに努めたわけです。その時の情報交換はどのようにしたのでしようか。

統治後の政治的傳達はどうしたのでしようか。

征服地統治における情報手段の統一は、まさに死活問題となります。

そこで中原の文字をベースとして統一し（口語の統一ではありません）、勝手な表意文字の作成を禁じました。（後の唐の時代の武帝、武则天は独自の漢字を作りました。しかし一部例外などの漢字）を除いて武则天の死後普及はしませんでした。なおこの新漢字の作成禁止政策は現代中国においても生きてお（り、文字の私的作成は禁じられています）

これにより、中央の政治傳達はいわゆる漢字形式でなされ、それも表意文字であることから、発音は無視して意味の傳達は可能となったわけです。

（簡単に言えば「非常」を日本人はヒジョウと発音し、北京語でフェイチャンと発音しても文字を見れば「常でない、大変な」と理解します。または同じ意味の趣旨を地方によって異なった文字で表すことも当然あり

ますが、漢字を見ればほぼ意味を理解できます。）

このことから中国大陸において漢字が唯一の統治情報手段となり、大陸における政治的統治の単一化の源泉のひとつとなつた。かつその組織を担う人的要素として、漢字の数の多さ（歴史を通して八万語以上作成され

たとともいわれる）が中国の教養エリート階層を育て、それらの階級が同時に郡における徴税、裁判、統治機構を担うこととなり、特権的情報、文化手段を独占し、歴代王朝を下階機構として支えることになりました（科挙がその階級選別の役割を果たす）。特に唐代においては王羲之、顔真卿等により漢字や文章の美的及び用法的完成度も併せて上がり、いまだにそれを超えないとまでいわれます。

それでも近代にいたるまで文盲率は九割をはるかに超え、文字を読めない大衆は漢字を知的象徴、言霊のように崇拜するようになったことは自然です。（例えば古い街並みに今も多く残る各戸の玄関に漢字による吉兆の意味する文字が左右に掲げられていることや、孔子廟、道教、仏閣その他歴史遺跡には多くの教養や教訓的漢字文章での額等

があふれているのはまさに言葉・漢字の力を信ずる民意と言えます）

したがってこれ以外の言語ツールができる余地がなくなったと考えられる。

繰り返せば、大陸は広すぎ統一口語が生まれず、その上、口語の地域的多様性がひどすぎ、各地域での独立した表音文字を作る人口基盤ができなかったと考えられる。そこを表意文字漢字が共通書き言葉として意思疎通手段となつたと思われれます。

もっとも、毛沢東統治後、漢字発音記号（ピーイン）がラテン語発音を基礎にアルファベットで書かれるようになったが、依然として漢字の発音表記としてのみ存在し、文章語として使われていない。もっとも漢字の数に比べ四声を入れても発音の数が少なくピーインで、ずらずら書いてもほぼ意味不明となりました。

一説では、毛沢東は「中国は近々漢字をやめてアルファベットにする」と発言していたがその実行は不可能であった。彼は漢字が中国の近代的発展の障害であると信じていたようです。

結果として、世界で表音文字ができなかった最大の文化圏が

中国であり、表意文字文化圏から「tool」としての科学技術は導入しても、文化的、精神的には独自性ないし外部世界との差別化を保とうとする傾向の精神的支えおよび象徴となつていのが漢字と考えられます。

故郷東近江と彦根

木下 英男（大15回）

生まれも育ちも滋賀県、大学を卒業して就職で初めて湖国から出ました。以来四十年近くのサラリーマン生活を経てフリーとなり、茨城県に落ち着いて早や十年以上になります。喜寿を迎え編集部から寄稿の要請を頂き、ざつと振り返ってみました。

●大中の湖と安土城境界が遊び場

実家は安土城址から三km程の能登川町（水車が有名。現在は東近江市）の琵琶湖岸の農家です。昭和三十年頃には各家庭に農業用の田舟があり大中の湖での釣りを、また時には安土山への往復ウォーキングで城山散策を楽しみました。その後大中の湖は干拓事業で埋め立てられ、安土城は発掘事業が進みすつかり様変わりしました。小学校三年生で父親が病死し一回り年上の兄が農業を継ぎました。経済



ジャパン SHIPPING サービス株式会社

代表取締役 **武田吉史**（大30回）

〒105-0004 東京都港区新橋 2-5-5 新橋 2 丁目 MTビル 7 階
TEL: 03-3580-7733(代) 03-3580-0711(直通)
Fax: 03-3580-7737 URL <http://www.jship.co.jp>
E-mail: info@jship.co.jp(会社) yoshi-takeda@jship.co.jp

的余裕はありませんでしたが、兄は早くから大学進学を勧めてくれました。母はよく働き質素に生き、八十四歳で亡くなりました。社会人となって帰省する度、私との会話を楽しみにしてくれていました。私は時に煩がったりして親不孝でした。この年になって後悔しきりです。



安土城址

●彦根東高校と滋賀大学

彦根東高校に進学しました。JR線で能登川駅から彦根駅まで十五分程です。駅から登城するような感じでお濠端を歩きましたが、特に雪化粧の松並木は見事でした。

滋賀大学経済学部は難関でしたが合格し高校と同じルートで自宅から通学しました。彦根は静かで落ち着いた雰囲気でしたが、刺激が少なく物足りなさを

感じたものです。

経済的な面もありアルバイトには精を出しました。中学生相手の家庭教師を中心に近江絹糸・鐘紡での工場内雑務、中学生対象の高校入試模擬試験のとりまとめなどをやりました。短期間でしたが東海道新幹線開業前の線路点検(米原～山科間)なども印象に残っています。ゼミはご子息と彦根東で同級生ということもあり、石田興平先生の「いしだゼミ」に参加させていただきました。私は第十五回で最後のゼミ生でしたが皆さん勉強熱心でレベルが高く、ついていくのが大変でした。

第二外国語は生徒数四名の中国語を選びました。和気あいあいでしたが、今日の中国の台頭を見聞きするにつけ、もっと基礎を勉強しておけばよかったと思います。

クラブは水泳部に所属しました。実力のある先輩が何名かおられました。私も含め総じて初心者が多く中には泳げない強者もいました。五十メートルプールは広く深くシーズン前後の大掃除は匂いもありいつも苦痛でした。関西国公立定期戦、和歌山大との定期戦などに何回か先輩のお供をしました。

●就職と退職とその後

募集の早かったM電機を希望、友人と二人で上京、入社試験に臨みました。当時は一期校・二期校別日程での試験でしたが幸い二人とも合格、友人は経理畑で優秀でしたが惜しくも入社十年目に他界しました。私は営業畑で長崎・東京・大阪・千葉・北海道と国内の事業所、営業所を経験しました。ゼミの一年先輩のKさんとは同じ会社で所属は違いましたが長崎でご馳走になりました。

「石田ゼミ十五回生」はスタート時十六名でしたが現時点では四名が死去、十二名が国内に分散しています(東京地区七名、大阪地区三名、岐阜・島根各一名)。

平成二十五年に「古稀の集い」を彦根で開催、幹事役を務めさせていただきました。彦根で一泊、翌日は竹生島に参拝、夕方彦根で解散しました。以後の集まりはありませんが、また機会があればと思います。ゼミの会報「いしだゼミの友」は諸先輩のご尽力で平成二十一年第五十二号まで発行され、約四百名が在籍されました。不勉強でしたが伝統あるゼミに参加させていただき良き思い出となりました。

た。

自由の身となり地域のボランティア活動、ピアノ・太極拳・短歌・城巡りなど仲間と楽しく過ごしています。後期高齢者となり病気が気になりますが、朝夕の小貝川沿いの散歩で霊峰富士山・筑波山を遠くに仰ぎつつ健康に心掛け、家族・友人、地域社会の皆様へ感謝の日々です。

山の王冠

蔵 彰(大20回)

私が山登りを始めるきっかけとなったのは十数年前に初めて訪れた上高地の晩秋の景色でした。すぐ目の前に迫る少し雪化粧した穂高連峰と早朝の上高地の霜に覆われた水辺の木々の綺麗さに、周囲にいた大勢の写真マニアと共に感動し、山の魅力に取りつかれてしまったのです。

学生時代はバドミントン部に所属して体育館で過ごし、卒業後は海運・造船関係の仕事と海外駐在延べ十年間の商社勤めに忙殺され、山の自然に対する興味はほとんどない日常でした。山登りに覚醒した五十代中頃からは、運動はゴルフから山登りにシフト。当初、週末のみの山登り直後の週明けの通勤。勤務

中は足腰の筋肉痛でロボットの

様に歩く私の姿を同僚からは山修行しているみたいだねとからかわれたものです。山登りは行動時間が一日当たり五〜十二時間と長く、アップダウンの行程の為、体力面の負担が大きいことを実感。定年後は健康寿命を延ばすことと山登りのために足腰の鍛え直しを目指し、毎週テニスを楽しみ、スポーツジムに通い、冬場には里山歩きをして本格的な登山に備え体力強化に努めています。今では時々膝痛はあるものの下山後の筋肉痛はほとんど感じなくなりました。

退職前後から始めた夏山縦走登山は、甲斐駒ヶ岳や奥穂高岳、槍ヶ岳、劔岳、白峰三山などに北アルプス・南アルプス・中央アルプスの所謂、日本百名山とよばれる三千m前後の人気の山を楽しんでいます。

二〇一六年夏に元の勤務先の同僚と登った劔岳と立山三山縦走は特に感慨深いものでした。劔岳は二〇〇九年に観た公開されたばかりの映画「点の記」で描かれた日本でも屈指の難しい山。明治四十年(一九〇七年)に旧陸軍陸地測量部(現 国土地理院)が日本地図の完成を目指す山岳測量の一環として劔岳

に三角点設置の為に測量部員が初めて登頂に成功した際に、平安時代頃の修行僧が設置したと思われる錆びた劔が見つかったという伝説の山に、しかも岩場の難所が多いと聞いていたので、登る前から自身の登山技術・経験を考慮してかなりびびっていました。リーダーからの「急峻な岩場は足元のみ見て、眼下の谷底は見ないように」とのアドバイスもあり無事登頂・帰還できました。

彦根発の「三方よし」について

吉本 準一（大29回）

した。白山登山のベースキャンブ地はいつも空き家となっていた私の生家です。

ところで、伝説の英国登山家ジョージ・マロリーはエベレスト登頂挑戦直前に、新聞記者から「なぜ山に登るのか？」と問われて、「そこに山があるから登るのだ。」と答えた言葉は有名です。私の場合そのような答え方には足元にも及びませんが、山登りに興味のない人からは、「なぜ、修行のように厳しい山登りをするのか？」と問われ、「スポーツとしての趣味と健康目的。そしてなんと云っても苦勞して山頂に立った時の達成感と山頂から稜線を俯瞰するのが山の醍醐味でしょう。道中も山でしか味わえない自然や綺麗な高山草と景色を堪能できる褒美があるからです。」と答えています。

近江商人の「三方よし」は、本学教授であった故小倉栄一郎先生（九十二年没）の造語である。陵水会員の中にも、この事実をご存知ない方が多いようだ。八十八年の著作『近江商人の経営』における次の記述が初出である。

いう表現が見られるが、近江商人に直接言及したのではない（ただし石田梅岩・石門心学の影響の指摘は、近江商人にも通じる）。

したがって昭和卒業の陵水会員で、学生時代に「三方よし」という語を聞いた方はいないはずである。だが、私は4回生だった八十年にその原型ともいべき話を耳にしている。

翌日の立山三山縦走時に珍しい「ブロッケン現象」を体験しました。ブロッケン現象とは太陽などの光が背後から差し込んで自分の影の側にある霧粒により光が拡散され、自分の影の周りに虹と似たような光の輪となって現れる神秘的で不思議な自然現象です。この様な山の自然現象に遭遇できてとても感激しました。

十八世紀前半に財を成した近江商人・中村治兵衛宗岸の家訓等がその由来とされるが、「三方よし」の語はどこにも見当たらない。彼ら近江商人の精神を、先生が「三方よし」と表現されたのだ。

当時、小倉先生は来訪する学生のために、目を決めて夜間ご自宅の応接室を開放されていた。私はゼミ生ではなかったが声を掛けていただき、何度かお邪魔した。

私の生まれ故郷には霊峰として名高い白山があります。加賀平野にある私の生家から晴れた日には白山の全容がよく眺められます。私は白山には定年退職後に元の勤務先同僚達とこの五年間に二度登りました。特に二〇一七年の二回目の登山は白山開山千三百年記念に巡りあいま

因みに、モラロジ創始者広池千九郎氏が戦前に自己・相手・第三者も幸福になる道徳を唱え、三方善・三方良しを使っていたといわれるが、近江商人とは何の関係もない。

また、老舗の経営と家訓を研究した足立政男教授（立命館大学）の七十年代の著作に、第三者も喜ぶ「三方よしの商法」と

ある夜偶々近江商人に話が及び、近江商人は自ら儲けるだけでなく、相手にもその地域社会にも利益がある商売を心掛けていたと話された。そして「三井越後屋のおっかさん（創業者三井高利の母殊法のこと）は『売りにて喜び、買って喜び』と言ったが、近江商人はさらに世間もよろこぶ商売をしていた」と。私は世間とは何と古臭く曖昧な語かと思ったが、先生も「三方よし」とはおっしゃらず、そのまま忘れていた。（もし八十年代半ばにこれに類した話を先生から聞いた陵水会員がいれば、



Heart Tree ハートツリー株式会社

代表取締役 **服部 進** (大37回)

〒106-0046 東京都港区元麻布3-10-4 Re-Flat 303
TEL : 03-6804-2545 FAX : 03-6893-3344
ホームページ <http://heart-tree.com/> メール : info@heart-tree.com

業務内容

- ・和楽器演奏家の派遣。
- ・映画「うみやまあひだ」のプロデュース。
- ・環境に優しい企業ノベルティの販売。

お気軽にご連絡ください。

是非教えていただきたい。貴重な資料になる。」

卒業して十年後の九十一年頃から急に「三方よし」を聞くようになった。その三番目が「世間よし」であることを知って、

私は彦根の芹橋に近い先生のご自宅にお伺いした夜を思い出した。そして「世間」が一般的な社会や単なる第三者と解され、安直にCSRや経営道徳に結び付くのに違和感を覚えた。

思い起こせば、先生は近江商人が基本的な問屋業であること、近江商人から商品を買う地方小売業者である。ならば世間とは、近江商人が活動する地方(地域)の最終消費者であり、彼らが構成する地域社会のことではないか。なるほど先生はこういうことをおっしゃっていたのかと、漸く合点した。

さらに世間について思い巡らすと、現代は輸送通信手段等の飛躍的発達で空間が拡大・情報化し、取引に伴う社会関係も拡大・短絡化した。つまり現代の「世間」は、売り手たる事業者のステークホルダー(消費者・従業員・株主・債権者・仕入先・地域社会・行政...)にまで広がったといえる。これを前提とし

た「世間よし」の現代解釈こそ、彦根発の「三方よし」の正しい

応用であろう。そして、いつのまにか昨今人気のステークホルダー資本主義に限りなく近づいているのに気づくのである。

彦根発の「三方よし」の構想の大きさには驚くばかりだ。陵水会員としてはこれを尊重し、安易な道徳的解釈や奇を衒った四方よし論等には組みたくないと考えるが、皆さんはご同意いただけるだろうか。

「K君のこと」

北野 英明(大33回)
昨年(令和元年)3月、K君が五十六歳で亡くなった。

彼とは同じ伝田ゼミ、クラブは違うものの体育会本部役員として同じ時を彦根で過ごした。

彼は大手都市銀行、僕は総合商社に就職し、社会人になってからは年賀状のやり取りはしていたが、会ったのはお互いの結婚披露の時くらいだった。

久しぶりに再会したのは五十七歳を過ぎた頃、お互い公私ともに大変お世話になった山内先生の褒章受賞の祝宴が彦根で行われた時だった。

学生時代と同じ少しはにかんだ笑顔で「久しぶり」と声を掛

けてきた彼を見て驚いた。

目と鼻と口のパーツは学生時代のままだったのだが、顔の面積が倍以上に膨らんで、体つきもパンパンといった状態だった。

銀行傘下の会社に向向し、東京で働いているという事で名刺をもらい、昔話に花が咲き楽しいひと時を過ごし、また東京で会おう、と別れた。

それが、K君との今生の別れになるうとは:

昨年三月、通夜の前日に連絡をもらったが、翌日から出張が入っており、通夜、告別式には出られない。しかし、名古屋で途中下車し、短時間なら葬儀場には行ける。前夜、彼への手紙を書いた。

学生時代に伝えることが出来なかつた様々な思いを記した。下宿の彼の部屋に行くと、K君自ら豆を挽き、美味しいコーヒー淹れてくれたこと。

自慢の巨大なJBLのスピーカーから流れるジャズのメロディーを聴きながら、将来のことなど色々話したこと。

彦根駅近くの喫茶店「帆船」でバイトの県立短大生の女の子を僕と同時に好きになったこと。

お調子者でスタンドプレーばかりの僕をいつも、やさしくたしなめてくれたこと。K君は人の見えない所でコツコツ努力し、寡黙で、本当にいいやつだったよな。

通夜開始の数時間前、葬儀場に到着すると棺が置かれ、来場者はまだなく、奥様がお一人で座ってらっしゃった。

「どうぞ、顔を見てやって下さい」と言われるままK君と対面した。

パンパンに膨れていた頃より、若干すっきりとはしていたが、学生時代より大きくなった顔は色つやもよく、まるで生きているようだった。

「よう、北野、よく来たな」と今にもしゃべりだしそうなK君をしばらく見つめていたら、涙が溢れ、止まらない、「まだ早いだろ、なんでだ」つぶやく僕。奥様の話では、太り過ぎで心臓も血管もいっぱい、いっぱいだったようだ。

突然倒れ、数カ月間病院で意識不明のまま、三月に亡くなった、との事。用意してきた手紙をそつとK君の脇に置いて、十分程度の対面を終え葬儀場を後にした。

一年後、今年の三月、体育会

本部役員をしていた同期四名とK君の家を訪問した。

一戸建ての大きな家に奥様お一人が住まわれていた。お焼香し、少しお話しした後二階の彼の自室に案内された。部屋は学生時代と同じでかいスピーカー、オーディオ機器が置かれ、膨大な数のジャズのLP・CDで溢れていた。「ここで、いつもお気に入りの曲を聴いています」と奥様。

四十年近く前のK君との下宿での思い出が蘇り、泣きそうになった僕は彼のお気に入りだった女性ジャズシンガルのCDを形見分けにいただき、K君の自宅を後にした。



彦根城春祭

私の「育メン」ドキュメント

岡村 和哉（大51回）

令和二年八月に第二子が生まれ、後に述べますとおり、近年の育メンブームの流れと、それを受けた職場環境の変化によって、この年十月一日から一か月の間、育児休業を取得し、二人の子育てと家事に追われておりました。一人の男の育児記録です。

同年代の方には育児あるあるネタとして、また、歴戦の諸先輩方には、「俺らの時代には考えられなかったな」という時代の移り変わりを感じて頂くための後輩のつまらぬ愚痴として軽く読んで頂ければ幸いです。

一 プロフィール

私は平成十五年の三月に経済学部を卒業後、国家公務員として某省の大阪にある出先機関で採用され、平成十六年に東京に異動、現在まで東京にて勤務しております。平成二十七年に結婚、平成二十九年に第一子（男子・本稿記載時十一月一日時点）が誕生しております。妻は第一子の出産時に仕事を辞めており、専業主婦となっております。

これまで、夫婦プラス子供一

人だった我が家に第二子（男子）が増えたというのが、今回の育児休暇取得のきっかけです。

二 育児休暇取得まで

私が育児休暇を取得するのは初めてです。第一子の時には取得していませんでした。もちろん制度として存在するのは何となく知っていましたが、わざわざ知らずに取得している人もいますという事は耳にしておりました。が、他人事として観ており、取得することの是非すら妻に相談していません。あと、男性職員で取得している人は本当にわずかで、わざわざ手を上げることに躊躇いがあつたのも事実です。もちろん、上司が休暇を取得するよう説得してくれるわけもなく……

ところが、二〇一九年になり、某環境大臣が育児宣言をされるという事でニュースやワイドショーなんかであれこれ議論されていくうちに、「そもそも旗振っている政府の男性職員の取得率が低すぎる」ということが判明し、突然、二〇二〇年から男性の国家公務員は二か月以上育児を取得させるとの方針が打ち出されました。そして、二〇二〇年九月出産予定の我が家は

この取組の対象となりました。妊娠判明後、しばらくしてから職場の上司に報告しますと、「取得時期も期間も任せるから必要なだけ取得しなさい」とのこと、また、部下も同様に「奥様大変でしょうから是非取って下さいよ」と言われました。大変ありがたいお言葉ですが、二つ返事で送り出されると自分のアイデンティティを否定された感じがして複雑な気分です……

一方で、妻に育児休暇を取得する旨を相談したところ、「職場で決まってるなら仕方ないけど、収入減るなら正直、取ってほしくないんだけど」とのこと。これまで、平日の朝食作りや帰宅後の皿洗いと、休日の家事、子育てはそれなりにやってきたつもりなのですが……

こうみると、職場からも家庭からも必要とされていない気がしました。気が取り直して育児休暇期間に入りました。

三 休暇取得中の一日

（七：〇〇）朝食は基本的に私が作りますが、食事の補助は「ママがいい」といって、私は早々に排除されます。食事を作ったからといって報われるわけでもないようです。

（八：〇〇）上の子供がYouTubeを観たいと騒ぎ始めます。私の世代はテレビっ子などと言われましたが、うちの子供はテレビをほとんど観ず、もっぱらYouTubeを見ています。二歳にして、スマホの画面を操作して自分で動画を選んだりしている姿をみて複雑な気持ちにはなりますが、他の家庭でも同様なようで、数十年後にはテレビ業界はどうなっているのだろうか和他人事ではあります。が、心配になります。

（九：〇〇）我が家ではYouTubeは一日一時間と決めており、九時前後に子供からスマホを回収します。当然、そのままでは納得してくれないので、上の子だけに連れ出します。最近のお気に入り砂場で、いくつかの公園ストックから行きたいところをその日の気分次第で選んでいきます。しかし、毎日となると、同じ砂場の繰り返しになってしまうので、グーグルマップを片手に自転車漕ぎ、公園開拓に励んだ結果、強靱な脚力が身につけてしまいました。

（十二：〇〇）昼食のため帰宅します。昼食は帰ってからすぐに準備できるように自然と麺類が

α+ ALPHA PLUS CO., LTD.

代表取締役 **岡本幸博** (大25回)

株式会社 アルファプラス

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-37-8 白鳥ハイツ206号

TEL (03) 5474-0593 FAX (03) 5474-0594

携帯電話 090-3220-0595 E-mail : okamoto@alpha-plus.co.jp

多くなりました。調理時間がかかる子供が騒ぎますので。種類は手軽に作れるのがメリットなのですが、汁ハネや箸から滑り落ちた麵の残骸が床に散乱して無残な状況になってしまうのが難点です。

〔十三：〇〇〕 昼食後から子供が眠くなって機嫌が悪くなりです。昼寝に誘うのですが、寝るのは「ママがいい」と言っていて聞かれません。午前中、あれだけ楽しそうに遊んでいたのにどういうつもりかと思いつつも、下の子も寝ていた場合には、貴重な休憩時間になるので助かりました。

〔十五：〇〇〕 昼寝から起きておやつを食べた後は、おもちゃで遊びます。他の家庭でもそうですが、うちの子供も男子という事で、タカラトミーのプラレールとトミカの虜になっております。成長に伴ってプラレール派（電車）とトミカ派（車）に分かれるようですが、うちの子は現時点ではややトミカ優勢といったところです。トミカは、一台買うのに五〇〇円もかからず、子供が飽きてもどんどん新規の車を追加してやるのができます。ただ、個人的な悩みとしては、そこら中にトミカの車

両が潜んでいるため、暗闇で踏むと悶絶必至です。あと、車好きになりすぎて、道行く車の名称はもろろん、最近では、何で動くのか（ガソリン車、ハイブリッド車、ディーゼル車の違い）、スズキのスイフトとスイフトスポーツの違い（外形や性能の違いの他に、なぜ違うようにしたのか、誰が違うようにしようと思ったのか）を延々と聞かれます。スズキにお勤めの方がいらっしゃったら教えて下さい。

〔十六：〇〇〕 お風呂に入れる時間です。昼寝などは断られる私ですが、お風呂は案外受け入れてもらえます。妻が入れた場合は、入浴後の着替えや保湿クリームを塗る作業を脱衣所で行いますが、下の子の対応をしている間に上の子の妨害に苦戦します。

〔十八：〇〇〕 夕食も同じく、私が作ったとしても食事の補助は息子に断られます。悲しい。

〔十九：〇〇〕 食事後に上の子供が元気になるので、布団の上でその相手をします。三歳近くになると蹴りの強さが尋常ではなくなり、下腹部へのヒットが一番堪えます。

〔二十一：〇〇〕 就寝です。私で寝付くことはほぼありません。四 結び

今回、一か月の育児休暇を取りましたが、これがどうしても必要なものであったかという点、必ずしもそうではないのかもしれない。実際、休暇取得後、妻はなんとか二人の面倒を見ることができていますし、社会全体の育児休暇の取得率を踏まえれば、取得できずに二人、三人の子育てされているご家庭も多いかと思えます。

確かに、私が一か月不在となることで、上司及び部下の負担が増えたことは事実です。しかし、上司・部下ともに私が取得する時には「自分も取得したので是非取得してくださいよ」と送り出してくれました。なぜなら、彼らも取得した際に周りのフォローがあって、今度は自分がフォローする番であると考えてくれたのだと思います。実際、取得前は職場に迷惑をかけるのではないかと心配していたのですが、一番、迷惑を被るであろう上司・部下が取得に前向きであつたことは、取得に対するハードルを引き下げることに非常に効果的でした。

育児休暇によって妻の育児の負担は軽減し、それは職場の業務負担として転嫁されるのですが、それは職場内での取得経験者による「お互い様」が機能すれば、その負担も分散させることが可能なのだと思えました（注）。その「お互い様」を機能させるためにも、男性職員の積極的な育児休暇取得は重要なことだと思えます。

今後、育児休暇の対象となる部下を持った際には、今回支えられたことを思い出して、気持ちよく育児に専念してもらおうと思えます。

今年も久野さんから自作の日記めぐりカレンダー「The Daily Kuno 2020」三六五日有給休暇」を贈呈していただきました。

東京陵水会計人会 新年会

岡田 憲治（大18）

東京陵水会計人会新年会を令和二年一月二十八日、新宿西新宿「すし屋銀蔵」新宿NSビル店にて開催しました。

今年の新年会は初参加の二名を加えて一〇名が集まりました。参加者は岡田憲治（大18）長井和夫（大22）御旅屋尚文（大24）上田信子（大29）久野康成（大37）松澤進（大38）山本真嗣（大40）北尾聡子（大45）木村繁（大46）島康介（大47）の皆様です。高木早苗（本24）星出潔（大13）稲野辺敬義（大19）深田睦子（大26）青木聡史（大45）平松慎矢（大47）笠浪真（大48）稲葉隆博（大48）の皆様は、残念ながら、ご都合により参加できませんでした。

毎朝、和文と英文による Insight and Motivation を楽しみにしています。

更に、新著「仕事をゲーム化する」と、なぜ成果が上がるのか？もいただきました。活躍している人材は「仕事を楽しんでいる」。急成長している企業には「仕事をゲーム化する仕組みがある。」とのこと。私は「仕事を楽しませる仕組みがある。」と理解しました。大変役に立つ書物です。皆様も是非ご一読して下さい。

公認会計士事務所長、税理士事務所長、社外監査役、団体監事、監査法人所属公認会計士等の皆様から近況報告と共に貴重な話が聞け、今年も有意義で楽しく美味しい充実した新年会でした。



東京陵水ゴルフ会

(第118回〜第119回)

《開催の主な内容》

(新規参加大歓迎!)

開催時期…年四回(4月上旬・

6月中旬・9月下旬・12月上旬に開催)

開催場所…金乃台カントリークラブ(カートなし)

順位決定…同ネットの場合、高齢者↓ローハンドの順とする

ハンディキャップ…10回ごとに

ハンデ改定を実施、上限40、

80歳以上+6 75歳以上+3

する。

【新規参加希望の皆様へ、

新規会員大歓迎!】

氏名・住所・☎番号・生年月

日・卒業回・所属ゼミ・部活・

ハンディキャップを下記メール

アドレスにご連絡下さい。Xの

次にアンダーバーがあります。

山本 保…

yattax_888@com.zaq.ne.jp

田口 良三…

twmx8165@mb.infoweb.ne.jp

第118回大会は昨年12月17

日開催。第119回は、4月16

日開催予定を6月16日に延期し

たが、それもコロナコロナで2

度目の延期となり、9月15日に

ようやく開催にこぎつけ、待ち

かねておられた方々、24名のエ

ントリーがありました。

118回大会は実力者川崎選

手、第119回は4回目出場若

手の高見選手が優勝(上野選手

は初参加のため準優勝)しまし

た。大5回卒87歳の中西さんの

連続出場は特筆される。

【各回の戦績…優勝者はじめ飛

賞も含めた賞金獲得者名は下記

の通りです】

第118回大会

成績(賞金獲得者)(卒年)

ネットスコア(ハンディキャップ)

優勝…川崎憲夫(大17)67(11)

準優勝…中岡浩三(大23)68(25)

3位…鶴見芳令(大15)70(34)

4位…田口良三(大23)71(24)

5位…小梶清司(大18)72(14)

8位…中尾克也(大15)76(28)

15位…玉置辰司(大23)83(15)

18位…山本 保(大15)92(18)

BB賞…奥村勇雄(大15)97(28)

ベスグロ…川崎(大17)78

ドラコン…竹森・中岡

ドラ短…佐藤・奥村

ニアピン…中尾・川崎・田口・

中岡

第119回大会

成績(賞金獲得者)(卒年)

ネットスコア(ハンディキャップ)

優勝…高見政史(大26)71(15)

準優勝…上野恵三(大20)66(14)

3位…田口良三(大23)72(24)

4位…中尾克也(大15)74(28)

5位…小野孝史(大19)77(2)

9位…守谷貞夫(大12)83(40)

15位…田川行雄(大9)92(8)

BB賞…奥村勇雄(大15)97(28)

ベスグロ…小野(大19)79

ドラコン…平居・山本

ドラ短…中西・兼松

ニアピン…兼松・能島・田口・

上野(2)

第120回を迎えるにあたって

川本支部長時代、箸方先輩な

どの発案により1990年3月

13日第一回東京陵水会ゴルフコ

ンペが12名の参加で行われて以

来、30年間、年4回開催で、次

回12月15日に第120回記念大

会を迎えることとなりました。

★ゴルフ会と東京陵水会総会

歴代支部長・幹事長の方々が

金乃台カントリークラブ

支配人 足立原 孝文

〒300-1211 茨城県牛久市柏田町3432

TEL 029-872-0182 FAX 029-872-3182

ホームページ http://www.kinnodai.com

“すべてのプレーヤーが楽しめるゴルフ場”

『今年も皆様のご来場をお待ちしております』

でこられた事もあり、また、年
4回のコンペ後のパーティーで
総会の案内もするなどの成果も
あり、一時は総会参加者の6割
近くを占める事もありました。
最近もゴルフには参加されなく
なった元ゴルフ会の方も含める
と毎回50名近い方が総会に出席
いただくなど、東京陵水会の大
きな勢力として貢献できてきた
かと思えます。

★データ

(1) 参加者の人数推移

1990年第1回12名、
1993年第15回に20名台、
1998年第36回に30名台、
2007年第69回に40名台と順



第100回記念大会の集合写真

調に参加者が増え、第70回記念
大会の45名が最高の参加者で
す。延参加人数は3090名で
す。
(2) 参加者の年齢推移
私が幹事役を務め始めた
2003年の第55回は、彦根高
商卒・5名、大学1回・9回
卒・20名、10回卒以降・13名で
した。2020年の第119回
では大学1回・10回・4名・大
学11・20回・13名・大学20回以
降・7名と順調に次の年代へと
引き継がれてきています。
★雑感と後継者へのバトンタッチ
私の同期は『80歳まで金乃台
でゴルフ』を合言葉に年2回コ
ンペをしていましたが、当初3
組が4年前(73歳前後)1組に、
2年前(75歳前後)には開催で
きなくなりしました。60歳から幹
事代行をしてきて感じたこと
は、カートなし歩きでラウンド
出来る体力は75歳前後が大きな
境目であるということ。この
山を越えて参加する方は大半
が80歳を超えても歩きのゴルフ
が出来ています。私は現在77歳、
来年には幹事代行を後継者にバ
トンタッチし、東京陵水ゴルフ
会が継続発展していくことを希
っています。

東京陵水会囲碁会便り

令和二年は新型コロナウイルス
の蔓延の影響ですべての活動を
中止せざるを得ませんでした。
令和三年は活動を再開していく
予定ですが、高齢の会員が多い
ことを考えると、状況を見極め
たうえで慎重な判断をしていく
必要があると考えております。
新型コロナウイルス感染症終息
後は従来通り年二回の大会を六
月と十一月のそれぞれ第三土曜
日を行う予定であります。また、
従来年一回行っておりました三
地区(東京・大阪・名古屋)対
抗戦も大阪・名古屋の幹事と連
絡を取り再開させていく予定で
あります。
大会の内容は左記の通りで
す。

- 時間 午前十時から昼食時間
をはさんで午後五時位まで
- 参加費 昼食代を含めて三千
円
- 順位 参加者が多い場合は高
段者と低段者に分けて、少な
い場合は1本で四戦を行いス
イス方式で順位を決定。
- 懇親会 希望者のみで大会終
了後、午後七時半くらいまで。
懇親会費は二千円。

囲碁の会は多い時には三十名
を超える会員がおりましたが、
現在では二十名くらいで大会の
参加者は十二名くらいとなって
おります。
高齢の会員も多く新しい会員
の参加がないといずれは会の継
続が困難になるのではと心配し
ております。大会に参加を希望
する方は幹事に連絡していただ
ければ大会が近づいてきたら案
内を差し上げます。
新参加者は段を申請いただき
その段で大会に参加していただ
きますが、その段が会のレベル
と合致しているか不明ですの
で、優勝は辞退していただき、
二位以下の順位とさせて頂きま
す。又その時に次回以降の参加
段を決定させて頂きます。
監事 鈴木 克治
住所 二七七-〇八五
千葉県柏市中原一丁目四-二七
電話 〇四七-二一五-七三七-
携帯 〇九〇-五五三-九六八-四八
鈴木克治(大14)記

●令和2年2月4日(火)

〔鎌倉七福神巡り〕

コース・北鎌倉駅・浄智寺・鶴
岡八幡宮・宝戒寺・妙隆寺・本
覚寺・(江ノ電利用)・長谷寺
・御霊神社・(江ノ電利用)・
藤沢駅。
正月の雰囲気も落ち着いた鎌
倉の寺々。早咲きの梅が強い匂
いを漂わせていた。訪れること
の少ない街の隠れた筋には咲き
かけた名の花、盛りの過ぎた牡
丹などが待ち受けていた。
参加者7人。

●令和2年10月15日(木) 同
月16日(金)

〔信州鹿教湯温泉の旅〕

コース・新宿バスタ・(中央道
速バス)・松本・(送迎バス30
分)・鹿教湯温泉・斎藤ホテル
・付近の薬師堂、文殊堂、内村
川沿岸、天龍寺等紅葉道の散策。
懇親会と一泊。鹿教湯温泉から
前日の逆コースを経て新宿バス
タまで。松本で有志4人が旧制
松本高校跡(縣の森公園)・松
本城(本丸庭園)を散歩。

令和二年
陵水散歩会

新しい入会者も増えて思い切
り楽しんで歩こうとプランをい
ろいろと散らかしていたが、こ

当会で第一一五回の陵水散歩会開催となる。コロナ対策で消毒、体調アンケート、ホテル館内のマスク着用が求められたが、陵水メンバーらしく明るくにぎやかな旅の会となった。

参加者8人。

●令和2年11月24日(火)

「等々力溪谷と九品仏」

コース…上野毛駅～上野毛自然公園～野毛大塚古墳～等々力溪谷～(大井町線利用)～九品仏浄真寺～自由が丘歩道～自由が丘駅

開催予定だったが十一月十八日当時東京地区新型コロナウイルスが四九三名に上り開催を中止。

●当年参加者(敬称略)

久木義雄・中川郁三・富永義孝・小森清美・林史欣・宮野幸雄・平居俊雄・天木國夫・羽瀨展生・渡辺雅利・並河日出夫・荒木秀(客)

※陵水散歩会は平成十六年四月に「東京陵水」編集部有志により発足。爾来東京、神奈川の街々、庭園、古刹、名社を当会オリジナルのルートで、開催日の午後一時、予定の場所に集合、散策を午後五時位まで。終わって二時間弱の打ち上げというスケジュールで開催してきた。毎年一回この中に散歩を含む



謙倉七福神巡り

旅行会を開催。信州松原湖と北八ヶ岳、別所温泉と塩田平、信州飯田御柱祭り、箱根旧街道越えと山中城址、興津から薩太峠散歩、春日温泉と小諸、信州鹿教湯温泉と松本街歩きが実績。この間参加された陵水会員は延二十八名。陵水会員外の参加者は五名と計三十三名になる。入会希望の方へ 当会の参加希望は申し込みがあればその都度直近の予定をEメールにより通知、いつでも参加できる。 ※申し込み先 林 史欣(大8回) Eメール アドレス hysckys@nifty.com (林史欣 記)

詩吟の会

詩吟の会(新陵教場)に入会して、まだ日の浅い筆者の目を通して感じた詩吟の魅力と陵水会員のご活躍ぶりを紹介してみたいと思います。 まずは、鈴木重成氏(大7)が会長として率いる「千代田岳精会」についてです。この会は全国組織である「岳精流日本吟院」の傘下にあつて、最大の規模・存在感と活動実績を誇っています。千代田岳精会は約三十の教場(教室)・総勢三百名強で構成されており、陵水会員も二十二名所属しています。その

陵水会員は、東陽町支部教場(教場長は宮野幸雄氏(大12)、総勢二十六名うち陵水会員三名)みなとみらい教場(教場長は田川行雄氏(大9)、総勢二十一名うち陵水会員五名)そして私の所属する新陵教場(教場長は堀内和氏(大12)、総勢十四名すべて陵水会員)の三教場で活躍されています。 次に、詩吟の魅力について触れてみます。第一には、なんとも健康に良いことだと思えます。腹の底から大きな声を出し、思い切り出すことで、身も心も

ストレスから解放されます。そして「肺年齢」も若返ります。そして、先輩方に詩吟を始めた動機を伺うと「健康に良いから」がやはりトップでした。 第二には、勉強の機会が増えるということ。詩吟は吟じる題材が、中国漢詩(李白、杜甫など)・日本人の漢詩(菅原道真、頼山陽など)・短歌(石川啄木、若山牧水など)・俳句(芭蕉、蕪村など)・新体詩(北原白秋、島崎藤村など)と裾野が広く、それぞれの詩の吟詠にあたっては、作者の生い立ちや詩が生まれた歴史的背景なども理解することが必要であり、ごく自然に知識の吸収に繋がっていきます。 第三には、声が出る限り年齢に関係なく、いつまでも楽しめるということ。年を重ねるほどに吟詠力に磨きがかかる方が多いとも伺っています。私はほとんど後期高齢者の仲間入りですが、この世界ではまだまだ若造扱いです。八十代の方が一大勢力という現状にはただただ驚くばかりです。 さて、私が所属する新陵教場を例に、通常時の活動状況をご

クレド アドバイザーズ株式会社

代表取締役社長 門平 孝二郎 (大19回)

〒113-0034 東京都文京区湯島 2 - 4 - 3 - 403

TEL 03-6303-2455 FAX 03-6303-2456

E-mail : credo-ad@biscuit.ocn.ne.jp



紹介しましょう。まず、学習の基となるテキストですが、これは、本部の岳精流日本吟院が作製する「詩吟教本」全四巻の中から漢詩・短歌・俳句・新体詩のバランスや会員の要望を考慮して作成されます。そのテキストで、毎月三回、各二時間ほどの教室開催となります。そして毎回、鈴木会長直々の熱血指導を仰ぐという恵まれた環境下にあります。年間ペースでは、この通常学習以外にも様々なイベントが開かれます。例えば、「昇伝審査会」（昇級・昇段・昇伝の判定審査）、会場またはプロック毎の「温習会」（学習成果の発表会）や岳精流日本吟院の全国大会など。また、外部団体主催の「コンクール」（地区大会から全国大会まで）や各種の大会（各流派の発表会）などもあり、自分の力を試す場であったり、他流派も含めたハイレベルの吟を勉強する機会ともなります。

救ってくれたツールがあったのす。それは、前年度に開設された千代田岳精会のホームページでした。実際、わが新陵教場でも四か月ほどの教室閉鎖という憂き目に会いましたが、ホームページの自習プログラム（毎月配信）を活用することによって吟の勉強を自宅で継続することができたのです。これには今でも感謝の念でいっぱいです。このホームページ開設に際しては、陵水会員の方々が中核的な役割を果たされたことと仄聞しています。

これと並行して、五月頃からはオンライン（Zoom）による教室運営の機運が高まり、新陵教場でもいち早く実現に向けた検討を行って、七月からの全員参加によるZoom教室開催にこぎつけました。オンラインでの学習には、声がとぎれたり、タイムラグが生じるといったことも多少ありますが、なによりも安全で、仲間の元気な顔を見ながら学べるという大きなメリットがあります。

そして、コロナが早く終息して、みんなが一堂に会して勉強できるかつての日々を心待ちにしながら、吟詠力の上達をめざしています。



電話 ○四五一九一〇一四三〇三
(西川清悟 記)

「元気に長生きしたい」とお考えの方は、ぜひ一度、千代田岳精会（ちよだがくせいかい）のホームページを開いてみてください。そして、詩吟に少しでも興味を持たれたら、気軽に見学または体験入会されることをお勧めします（しつこい勧誘などは一切ありません）。最適な入会先をご紹介します。若いみなさんも（女性も）大歓迎です。ご連絡をお待ちしております。

新陵教場 柴田 豊彦（大16）
電話 ○四二七四八六一一四
西川 清悟（大18）
松本に見る北アルプスにはまだ雪は無く夕照に黒々と屏風を立てたように峰が連なる。松本城天守閣はコロナ禍で入場制限。時間がなく上ることをあきらめる。

薬ぼつち並ぶ刈田や遠浅間
佐久市春日温泉から千曲川方面に下る。周辺刈田には脱穀した藁を束ねて立てた小さな塔、藁ぼつちが整然と並ぶ。遠くには浅間山がどっかと据わり旅情をそそる。

父の日や子に含められ杖受くる
二年前に妻を亡くして以来二人の娘はしきりに老父を氣遣

（おわりに）

「東京陵水文芸」

俳句・短歌・漢詩・絵

中川 郁三（大5）

山峡の鹿教の露天湯紅葉降る
長野県上田市の山深い鹿教湯の里。文殊堂など少しの見所のほか幾つかの温泉宿がある。

露天湯の湯気を透かして色づき始めた紅黄葉が見える。初冬を思い浮かべて詠んでみた。

雪前のアルプス遠に天守閣

う。断り続けていた杖を根負けして終にもらうことに。鹿教湯の旅で初めて使ってみたが下り坂では調法した。

ベランダに男ひとりの月の客
団子も薄もない。ベランダに出て上り始めた名月を眺める。傍らに妻はいない。妻との日々を思い描きながら男独りの侘しい観月会

籠り居にはちすの盛り見逃しぬ
毎年近くの法華経寺の龍王池に咲く蓮を楽しむにしている。それがコロナ蟄居ですっかり出不精になり、気が付いた時には皆じょうろの口のような実が天を仰いでいた。

アマビエの絵はがき届く夏見舞
アマビエとは江戸時代のかわら版に登場する日本の妖怪。疫病退散の御利益があるとのこと。コロナ禍でにわかによりみがあった。

コーラスもディスタンスとる文化の日
テレビに見る八人編成の混声合唱。ここにもコロナが影を落としメンバーそれぞれに間隔をとりバランスがよい。歌はしっかりと聴かせてくれた。

荷車に園児満載風ををる
近隣の保育園から風に乗って子供たちの元気な声が聞こえて

くる。うるさいという人もいる

が私はこの歓声が好きである。

時折荷車の檻にはしゃぐ子供たち

ちを乗せて公園に遊びに連れて

出る。

また八十七歳一步未知の世に入る五月間

考えたこともなかった長生

き。妻にも先立たれた。数えで

米寿。この先どんな人生が待っ

ているのか

俳句「日常に詠む」

星月夜

山中湖湖照らす星月夜

山中湖へ行ったとき、湖が星

の光で輝いていたことを思い出

して

とろろ汁

とろろ汁ひとりになりて姿消し

とろろ料理は夫婦でいるとき

はよくやりましたが、妻が逝去

してからはやらなくなりました。

無花果

無花果を取るぞと家族集められ

とを思い出しました。

俳句

能島 伸夫 (大22)

新年

「書初めや孫の背丈と双び立つ」

漢字を書くのが苦手だと言っ

ていた小学校五年生の孫(男)

が見事に書いて誇らしげに自分

と並んだ書初めの写真を送って

くれました。

春「暗香の道筋たどる春淡し」

春先の山道、香りに誘われて

ついつい踏み込んで行くと、梅

の花が少し咲いていました。

夏「風の道模も外す夏座敷」

コロナ感染が広まっていた夏

の日、親戚が集まる機会があり

ました。

三密を避ける必要あり、換気

をよくするため、狭い座敷の襖

を外した次第です。

秋「初鮭の群れよりゆく銀の川」

昔、北海道にいた叔父のとき

短歌

浦谷 政夫 (大7)

木犀の花のかをりの玄関に匂ひ

て香し雨降り続く

去年こそよりもおくれて咲ける木犀

の花の香りのいつにかはらず

台風に折れやせぬかと木犀の枝

のしなりを気にして寝ぬる

玄関の木犀いつしが幹太り家に

そくはぬ立木となりぬ

王建なる唐の詩人の木犀を月に

浴はせて秋思に耽る

柿の葉の日毎ひとことに落ちゆき

てやがて冬木は骸骨のごと

柿の葉の遊歩道に落ちたれば

今朝も掃きてぞ一仕事ひとなる

真夜中になにの音かと飛び起き

ぬガレージの屋根に柿の実

落ちて

柿とらぬ近くの老人この秋の

熟れたるままに年を越すらし

なにゆえか師走になれば数八年

を恋ひしく思ふ上がかまりちに

カロチンをたんも含める柿の茶

葉初夏に若葉を摘むが適せる

鮒ずしを食わぬ娘が珍しく口に

せし昼めじる飛び来ぬ

客人が五右衛門風呂の下木板けすいたに

乗れずに騒ぎし七十年前

年とれば先のことをば棚にあげ

過ぎにしあの日を思ふ楽しみ

十二月八日といふ日のまた過ぎ

ぬ巷間口にするひとを見ず

蜘蛛の菓の庭木にあまた張られ

ぬて大風なきを盆に祈れり

熱中症に子供もおとなも倒れけ

り日射病なるとむかしは言ひ

たる

里芋の送られて来てはからずも

名月の日を思ひ出した

蜘蛛の菓の多きを見つけ台風の

少くあらんと彼岸に願ふ

名も知らぬむらさき花咲く夏草

を図鑑に見るも探し得ずして

ご宴会・ご婚礼・出張料理

カフェランランドーレ・グリルフクシマ

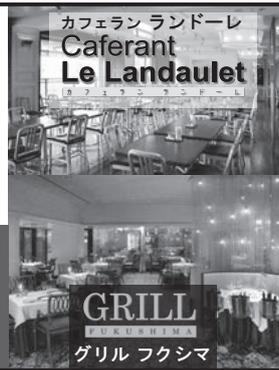


五野精養軒

〒110-8715 東京都台東区上野公園 4番58号

TEL 03-3821-2181(代) FAX 03-3822-1330

https://www.seiyoken.co.jp



カフェランランドーレ
Caferant
Le Landalet

GRILL

グリル フクシマ

絵画

三浦半島腰越漁港

滋野 輝彦 (大17)

腰越漁港は鎌倉市にあり、千年くらい昔より伝えられた地です。南は相模湾に面した風光明媚な港町です。

以前勤務していた会社の仲間とともに「スケッチと散策の会」に参加致しております。



一昨年、二十余名で鎌倉をテーマに、スケッチ合宿を行いました。私はこの「腰越漁港」と鶴岡八幡宮の水彩スケッチを切り取り、この絵を二十号の油彩に致しました。

漁港と言いますと、古いひなびた所を連想しますが、鎌倉市の一角でもあり、近代的な港町です。また周囲もマンション等が数多く立ち並んでおります。

この風景をいかにして作品にするか、「舟」と「港」と「町」

と「富士」これをテーマに、白黒の強弱にて表現してみました。水の深さ、遠方の富士山何とか思いを作品に出来たと思います。

昨年はコロナの影響でスケッチも全て中止です。楽しく描ける日々を切望しております。

「新緑の根津神社」

F4号 水彩

山崎 竹夫 (大19)

昨年は新型コロナの影響で、

私の参加している水彩スケッチのサークルの発表展覧会は春、秋とも中止になり、張りの無い一年でした。それでも天候の良い時を見て、都内でも三密にならない所を探してスケッチに出掛けました。

根津神社の絵は、楼門を左側から切り取り、緑陰と御神殿に抜ける陽光をとらえてみました。

昨年は中止になった根津神社のつつじ祭りが今年再開されることを祈っております。



相続税対策・申告、贈与税申告のご相談ならば

税理士法人ファースト会計事務所

法人税・所得税(確定申告)・相続税・贈与税

〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-15-401

電話：03-3766-5081 Fax：03-3765-1036 HP：<http://www.tax1st.jp/>



代表社員：公認会計士・税理士 **松 澤 進** 大学38回・平成2年卒
ウインドサーフィン部第6代主将 会計士同好会昭和63年度会長

編集部自己紹介

徳川 喜則 (大50)



大50の徳川と申します。

私、ナレーターをしており、映像に声を入れる仕事をしていきます。学生時代はTV局のアナウンサーを目指し、朝日放送で

夏の高校野球の実況中継をすることを夢見ていたが、情報管理学科からIT企業に入社、SEとして社会人生活を送りました。卒業して三年春、高田馬場にあった声優養成所に入学しました。

東京陵水の編集会議に参加したのは二、三年ほど前のこと。実は従来の生活は山あり谷ありでしたが、なんとか声の仕事をする事が出来るようになりました。最近では「発声練習をしないボイストレーニング」という独自のスタイルで声のレッスンをしており、声に悩みやコンプレックスをお持ちの社会人や魅力的な声になりたいビジネス

マンのサポートをしています。ITエンジニアのお仕事も継続していただきますので知人からはよく「何屋さん」と問われます。在

学中は陵水新聞会の編集に携わっておりましたが彦根の地を離れて約十八年、また同窓の皆さんに情報をお届けできる機会をいただき光栄に思います。個人事業主として奔走する日々ですが、同窓の先輩方、そして後輩の皆さんのお役に立てるよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

岡村 和哉 (大51)



いのかと思いましたが、ある程度、定期的に配置されていると知りました。

自分の実家(滋賀県甲賀市の奥地)に置き換えると、これらの施設にアクセスするには自動車必須です。妻も老後は図書館とか公園が近くにある所に住みたいと言っています。子育てや老後を考えると、東京は意外と良い環境だったりするのではと思いました。ただ、首都高速の真横の公園で排ガス被りながら砂遊びする息子を見ながら、山歩きとか田んぼ仕事知らずに育ててしまうのも忍びないなど感じる滋賀県の出身者でした。

脇 昌之 (大51)



ち上げた介護施設の経営に加え、自身でもケアマネージャーという介護の資格を取得し、介護プランを作る仕事をしていきます。紆余曲折ありつつも十六期目を迎える事が出来ました。

陵水会に参加し、先輩方との交流が生まれたことは私にとつて大きな財産になっています。支部同好会陵水散歩会の会員となり、業務の関係で参加もまばらですが、見聞を広めながら運動し、終わりに飲むビールと交流はいつも楽しみです。

東京陵水では、母校やOBの方々の近況や滋賀県ゆかりの東京での活動など、OBの皆様は役に立ち、楽しんで頂ける記事を提供していきたいと思っています。また、先輩方が築き上げて下さった東京陵水の伝統を絶やさないように(比較的)若手でもある私も頑張っていこうと思っています。

梅田 祐貴子 (大53)



53回卒の梅田祐貴子と申します。東京陵水の活動に参加させて頂いて三年程になりますが、私は密かにお気に入りの記事があります。それは卒業生のインタビュー記事「こんにちは」です。

普段なかなかお会いしてお話を聞ける機会が無い年代、様々な業種でご活躍の先輩方のこれまでの体験談や仕事の取り組み方などのお話は、本当にたくさんの気付きを頂けます。私自身も記事を通して感じたことを、普段の仕事でも意識して行動することも増えました。

編集部員でありながら、「今年はどうな先輩のお話かな」と毎年楽しみにしています。今年も読み応えある内容なのでぜひみなさまにも読んでいただけるとうれしいです。

同じ頃滋賀大で過ごした同世代の方や、卒業して数年という方も現在たくさん活躍されています。そして、最近では女性の卒業生も増えていきます。東京陵水を、三十・二十代の方や女性のみならずと一緒にご共感できたり、楽しんで頂けるものにしていきたく思いますので今後東京陵水をよろしく願います！

こんにちは。二〇〇一年入学、

田中二郎	竹本進一	藏田健一	角田健一	青木美憲	大20 吉延秀明	村上誠	宮川誠	松野澄男	濱筆治	戸田保延	土井利明	寺井与利雄	田邊徹	竹森二郎	芝田隆行	小山久照	門平孝二郎	小野孝史	江頭晋一郎	伊藤博邦	和田博之	山崎竹夫	平田雅章	林田学	西村穂積	西澤弘行	
林嗣和	玉村利廣	小林忠志	山田忠	能島伸夫	大22 北野敏彦	脇阪守	米山修	山下勝司	細河為久馬	中井義邦	上田文雄	飯田潔	山口勝三	森口修逸	植野克美	大21 堀尾重雄	福原隆	浜野信裕	河原正喜	上野恵三	上田求	植田兼司	岩谷克敏	持田春夫	農守義文		
湧川勝巳	本田吉弘	濱保晃夫	徳山恒男	田中恒男	後藤安利	川崎重喜	大24 加藤雅之	堀内裕	平本義則	野村勝良	鯉江典之	大矢武史	山本正裕	堀江慎一	深谷靖純	西岡以久夫	中岡浩三	玉置辰司	玉井達也	棚橋稔	田口良三	品川悦夫	大23 稲波信一	山脇一泰	山代真佐行		
堀井仁	近森彦義	上林好一	川勝弘之	夏目忠彦	高瀬豊	大26 大北亨	安井喜重	古澤義弘	濱塚純一	楠田芳弘	川久保勉	山本哲治	福田康夫	中村雅典	永田雅典	田村弘昭	香山隆	石黒俊一郎	大25 中川和彦	鷺尾秀樹	味田耕二	斉藤裕士	河江泰平	勝俣英美	伊藤敬一		
浅見徹	大29 馬場敬夫	服部基雄	中森基雄	宮崎吉史	西川元啓	中野克廣	岡野茂樹	天野利昭	吉永純明	森卓二	濱口卓二	篠田亨	小杉祐司	大28 大野光宏	杉本利彦	小松利央	柏木勝	大村義朗	足立浩次	溝口信悟	土井達也	木戸博文	大27 岩崎博之	重田博			
藤井登	関正嗣	四方省吾	福田徳美	正面順久	大31 相本民男	松本幹	武田吉史	山本嘉明	鮫島寛行	村上雅洋	藤坂祐宏	丹羽康之	浅野卓也	吉田繁喜	野村孝治郎	島田大輔	大江康浩	磯野和也	大30 飯塚浩彦	中野達也	坂根徹	山本裕之	西森和善	熊澤寿夫	吉本準一		
河合克典	大37 天野優彦	金岡昌彦	大36 能登英彦	西野智寛	新海秀也	大35 横山秀利	桂田和也	岡武俊雄	丸山貴宏	島津泰幸	一丸真信	森島明	穂積秀明	加藤篤	大34 清塚徳	大33 青山登	田邨弘樹	米山孝二	水上康弘	酒井康就	木村貢	大32 木村貢	高木尚久				
大44 中村勇人	大43 熊谷嘉人	大42 上田修	大41 畑本悠紀	大40 藤塚敬祐	大39 立木賢一	大38 宮本淳司	大37 大園祥一	大36 堀江俊雄	大35 市川行彦	大34 芦谷耕司	大33 北川昌樹	大32 松澤進	大31 岸野正史	大30 竹村信克	大29 柴田敬三	大28 飯塚志郎	大27 北尾聡子	大26 飯塚志郎	大25 吉村慎吾	大24 吉村慎吾	大23 吉村慎吾	大22 吉村慎吾	大21 吉村慎吾	大20 吉村慎吾	大19 吉村慎吾	大18 吉村慎吾	
大62 鈴木章司	大58 松田慎佑	大57 小濱浩史	大56 増森拓馬	大55 梅田祐貴子	大54 松江大輔	大53 遠山央敬	大52 伊東喜則	大51 上田伸吾	大50 弥田有三	大49 中原智子	大48 山内大輔	大47 清水康雅	大46 牛嶋宏也	大45 飯塚志郎	大44 吉村慎吾	大43 吉村慎吾	大42 吉村慎吾	大41 吉村慎吾	大40 吉村慎吾	大39 吉村慎吾	大38 吉村慎吾	大37 吉村慎吾	大36 吉村慎吾	大35 吉村慎吾	大34 吉村慎吾	大33 吉村慎吾	大32 吉村慎吾

片山裕太	今田壮久	池田貴紀	野間優也	大65	小野木俊介	南部愛	大68	尾原悠太郎	短9	日高信次	院27	島康介	院34	笠浪真
本23	前川彌之祐	高木早苗	中川弥次	大3	増田茂樹	大4	樋上不二子	大5	樋上泰功	大6	今宿隆弘	大6	中村博一	大6
大12	中村弘	堀内和	富田博司	大15	細江諤夫	大15	吉田勇夫	大16	木戸彪	大16	嶋多優	大17	西尾郁夫	大19
大12	中村弘	堀内和	富田博司	大15	細江諤夫	大15	吉田勇夫	大16	木戸彪	大16	嶋多優	大17	西尾郁夫	大19
大12	中村弘	堀内和	富田博司	大15	細江諤夫	大15	吉田勇夫	大16	木戸彪	大16	嶋多優	大17	西尾郁夫	大19

寄付金提供者

年会費、ご寄付のお礼

令和2年度はコロナ禍のため、「総会・講演・懇親会」を中止せざるを得ませんでした。

毎年、総会参加時に多くの皆様から年会費を納入頂いておりましたが、令和2年度は叶いませんでした。

これにも拘らず、多くの皆様からほぼ例年に近い年会費と多くの寄付をいただき、心からお礼申し上げます。

大22	林嗣和	大27	土居達也	大31	関正嗣
大22	山代真佐行	大28	篠田亨	大32	米山孝二
大22	山脇一泰	大28	森徹	大32	青山登
大23	西以久夫	大28	中野克廣	大33	清塚徳
大23	大矢武史	大29	中野達也	大34	加藤篤
大24	伊藤敬一	大29	西森和善	大34	岡武俊雄
大24	勝俣英美	大29	山本裕之	大35	能登英彦
大24	味田耕二	大30	島田大輔	大36	天野優
大25	川久保勉	大30	浅野卓也	大38	岸野正史
大26	川勝弘之	大30	丹羽康之	大38	松澤進
大26	近森彦義	大30	村上雅洋	大43	熊谷嘉人
大26	大北亨	大30	鮫島寛行	大45	北尾聡子
大26	上林好一	大30	松本幹		
大26	堀井仁	大31	相本民男		
大27	木戸博文	大31	正面順久		

編集室 所感

二〇二〇年は間違いなく人類の記憶に深く刻まれる年となりました。二〇二一年は一日も早く新型コロナウイルスを乗り越えて、正常な社会に戻ることを望むばかりです。

わが陵水会東京支部も二〇二〇年は多くの活動が大きく制約を受けました。しかし「東京陵水」一〇八号は関係の皆様の大なるご支援で、何とかお届けできます。

二〇二〇年は支部役員改選の年であり、支部長、幹事長をはじめ多くの支部役員が新たに着任されましたが、支部総会で皆様と直接お会いすることができませんでしたので、本号に自己紹介記事を掲載することにしました。

またこの東京陵水を皆様により親しんでいただけるように、若手編集部員の自己紹介記事も掲載するなどの新たな取り組みもしました。環境の変化に対応した活動はいつの時代も必要です。本年も新たな紙面を目指して活動しますので、ご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(田)

エレベーター等、輸送機械の営業、設計、製造、据付
保守サービス、モダニゼーションに関する全業務



守谷エレベーター

ISO9001 認証取得

守谷輸送機工業株式会社

代表取締役社長 守谷 貞夫(大12回)
田村 寿夫(大12回)

本社・第一工場 〒236-0004 横浜市金沢区福浦1-14-9 TEL(045)785-3111 FAX(045)780-1881
テクニカルセンター 〒236-0004 横浜市金沢区福浦2-15-1 TEL(045)785-3120 FAX(045)785-6420
東京支店 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-12-8八丁堀SFビル7F TEL(03)6228-3460 FAX(03)6228-3350
大阪支店 福岡支店 宇都宮工場 名古屋支店 埼玉事務所 京葉事務所 札幌出張所 上海守谷電梯有限公司

駐車場の総合コンサルティング

CPD 日本駐車場開発株式会社

(東証一部上場 証券コード2353)

東京都千代田区丸の内1丁目5番1号 新丸ノ内ビルディング

〒100-6510 電話 03-3218-1900

ホームページ <http://www.n-p-d.co.jp/>

取締役副社長 川村 憲司(大37回)

陵水会 タイ国支部長 連絡先: kkawamura999@gmail.com

Mobile: +66 89 027 1222

自然・お客様・地域社会の“HAPPY”を創出

NSD 日本スキー場開発株式会社

(東証マザーズ上場 証券コード6040)

本社 〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村大字北城6329-1

東京営業所 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15

東京事務所 〒100-6510 東京都千代田区丸の内1-5-1

ホームページ <https://www.nippon-ski.jp/>

取締役 川村 憲司(大37回)

陵水会 タイ国支部長 連絡先: kkawamura999@gmail.com

Mobile: +66 89 027 1222

発行所

〒236-0004

横浜市金沢区福浦1-14-9

守谷輸送機工業(株内)

陵水会東京支部 支部長 竹森 二郎
電話 045(785) 3716

印刷所

〒110-0015

東京都台東区東上野1-28-3

船舶印刷(株)

電話 03(3831) 4181

「会報」原稿・情報「送付先

吉田 勇夫(大15回)

〒184-0014

小金井市貫井南町5-8-14

(TEL・FAXとも)

042(403) 1764

(携帯)

090(1738) 4718

※編集室のメールアドレスは

yoshid_i@road.ocn.ne.jp

(次号分、切日十月末日)

陵水会東京支部

ホームページ
アドレス



<http://m-p-o.co.jp/tokyoryosui/>

東京陵水 108 号 誤記訂正のお願い

★年会費および寄付金納入者名簿の訂正

27頁～29頁に掲載の「令和2年度 東京支部年会費納入者、および寄付金提供者」に誤記がありました。お詫びするとともに、下記の通り訂正いたします。

① 27ページ

(大18回) 年会費納入者にお二方を追記いたします。

小梶 清司

千葉 茂

② 29ページ

—寄付金提供者— の記載位置を修正いたします。

(このページの名簿欄を裏面に再掲)

★その他

3ページに掲載の「東京支部を担う人々」に誤記がありました。お詫びし訂正いたします。

中村 勝 (誤) 経済学部 28 回卒 (正) 経済学部 25 回卒

笠浪 真 院34 島康介 院27 日高信次 短9 尾原悠太郎 大68 南部愛 小野木俊介 大65 野間優也 大64 池田貴紀 大63 今田壮久 片山裕太

寄付金提供者

年会費、ご寄付のお礼

令和2年度はコロナ禍のため、「総会・講演・懇親会」を中止せざるを得ませんでした。

毎年、総会参加時に多くの皆様から年会費を納入頂いておりましたが、令和2年度は叶いませんでした。

これにも拘らず、多くの皆様からほぼ例年に近い年会費と多くの寄付をいただき、心からお礼申し上げます。

堀川幸夫	大12	野一色公平	大11	畠山義生	大10	池田弘孝	大8	大島明美	大8	宇野進	大7	三宅義男	大6	中村博一	大6	今宿隆弘	大6	樋上泰功	大5	樋上不二子	大4	増田茂樹	大3	中川弥次	大3	高木早苗	本24	前川彌之祐	本23
小林忠志	大22管	山田忠	大22管	米山修	大21管	森口修逸	大21管	上野恵三	大20管	伊藤博邦	大19管	小野孝史	大19管	西尾郁夫	大17	嶋多優	大16	木戸彪	大16	吉田勇夫	大15	細江護夫	大15	富田博司	大15	堀内和	大12	中村弘	大12
木戸博文	大27管	堀井仁	大26管	上林好一	大26管	大北亨	大26管	近森彦義	大26管	川勝弘之	大26管	川久保勉	大25管	味田耕二	大24管	勝俣英美	大24管	伊藤敬一	大24管	大矢武史	大23管	西以久夫	大23管	山脇一泰	大22管	山代真佐行	大22管	林嗣和	大22管
正面順久	大31管	相本民男	大31管	松本幹	大30管	鮫島寛行	大30管	村上雅洋	大30管	丹羽康之	大30管	浅野卓也	大30管	島田大輔	大30管	山本裕之	大29管	西森和善	大29管	中野達也	大29管	中野克廣	大28管	森徹	大28管	篠田亨	大28管	土居達也	大27管
						北尾聡子	大45管	熊谷嘉人	大43管	松澤進	大38管	岸野正史	大38管	天野優	大36管	能登英彦	大35管	岡武俊雄	大34管	加藤篤	大34管	清塚徳	大33管	青山登	大32管	米山孝二	大32管	関正嗣	大31管